

市制施行25周年記念

五・三

1979



市 章

玉名の片カナ頭文字タを円型に
図案化したもので、中央剣尖は向
上発展を意味づけたものです。

■題字 玉名市長 川原弘海

■表紙 白石堰

菊池川の中流、市内月瀬にある灌
漑用堰で、昭和39年、県営玉名平
野土地改良事業により完成。

ここから取水された水は、農業、
工業、上水道にとわたしたちの生
活を支えています。

目 次

発刊のことば	1
市民憲章	2
沿革	4
地勢と位置	5
産業の振興で豊かな都市づくり	6
住みよい都市づくり	12
心の通う福祉をめざして	20
心身ともに健全な市民の育成	24
文化の香り高い都市づくり	28
豊かな自然・湧き出る温泉	32
市民参加で明るい都市づくり	38
市民のための行政	40



発刊のことば

玉名市は、本年4月に市制施行25周年を迎えました。

顧みますと、25年前田園都市として発足した玉名市ですが、その後の変動激しい社会情勢の中、多様化する市民の要望に応えながら、有明地域の中心都市として発展の道を辿ってまいりました。

そして今、地方の時代を迎え、市民みんなが玉名に生れ玉名に住んでよかったといえるよう

- ◆ 産業に活力が満ちあふれる豊かなくらしの都市づくり
- ◆ 魅力的都市機能を持つ住みよい環境の都市づくり
- ◆ 心の通う高度な福祉を実現する都市づくり
- ◆ 明日を築く教育を実現する都市づくり
- ◆ 市民参加の市政実現による明るい都市づくり
- ◆ 生きた自然と文化遺産を大切に守る都市づくり

の6つを基本方針として『文化の香り高い健康都市』をめざし市政を推進しています。

ここに、市制施行25周年を記念し、本市の姿をより多くのかたがたに知っていただくため「市勢要覧」を発刊いたしました。

皆様には、いささかなりと玉名市の現況を御理解いただくとともに、今後なお一層の御協力と御指導を賜わりますようお願い申し上げ御挨拶いたします。

昭和54年10月

玉名市長

川原弘一

玉名市民憲章

1. わたくしたち 玉名市民は
澄んだ空気ときれいな水と
緑あふれる 恵まれた郷土
玉名市の自然を大切にします。
1. わたくしたち 玉名市民は
古い歴史をたたえ 若い力を育て
文化のかおる郷土
玉名市をつくります。
1. わたくしたち 玉名市民は
仕事によろこびをもち 生産を高め
豊かな郷土 玉名市をつくります。
1. わたくしたち 玉名市民は
きまりを守り あたたかい心で
人に接し 住みよい郷土
玉名市をつくります。
1. わたくしたち 玉名市民は
教育を重んじ 教養を高め
視野を広くし 伸びゆく郷土
玉名市をつくります。

(昭和49年制定)





沿革



玉名の歴史は古く縄文時代から天恵の地として知られ、弥生時代になるとはやくも大陸と交流をもち、下って古墳時代には、華麗な副葬品と共に、日本最古の漢字が彫まれてある銀象眼の太刀で有名な舟山古墳をはじめ、船型石棺(院塚古墳) や装飾古墳(ナギノ横穴群) を多数のこし、考古学上貴重な遺跡が豊富である。その後、当地方を玉杵名と呼び正野長者(日置氏)、菊池氏、大野氏の荘園として産業が興り社寺等を造営し、この地方の中心としての基礎づくりができた。当時、高瀬、伊倉の港は一時倭寇の根拠地ともなり、中国大陆や南方向けの貿易港として栄え切支丹もひろがった。

戦国時代は、諸大名争奪の地となり焼土と化したが、加藤清正公入国して治水と干拓に力をいれ、広大な新田をえて当地方は穀倉地帯として人口も増加した。細川54万石の統治下になると肥後の要衝の地として5カ町の一つにかぞえられ文化、経済、商業の中心地として殷賑を極めた。明治10年の西南の役には戦場の最北端として官軍の本営がおかれて、熾仁親王もとどまられ附近に多くの有名な戦跡が残っている。

明治以後は経済面の開拓が著しく、干拓による米の生産、養蚕業の振興、鉄道の開通とともにしだいに発展してきた。

昭和17年高瀬町と弥富村が合併して玉名町となり、昭和29年4月、玉名町、伊倉町、大浜町、築山村、滑石村、豊水村、八嘉村、梅林村、小田村、玉名村、月瀬村、石貫村の12カ町村の合併により市制が施行され、昭和31年南関町の一部三ツ川地区が玉名市に編入された。昭和35年に国道208号線が市中心部を貫通商店街の近代化に拍車をかけるとともに近代都市としての形態を整えた。

昭和45年、2市8町を包含した有明広域市町村圏の指定をうけ、関連道路の整備、消防組合の設立、コンピューターの導入などの広域行政の推進とともに県北部における政治経済、教育文化、観光の中心都市として、一段とその飛躍が期待されている。

位置

極 東	極 西	極 南	極 北
東 緯 130° 37' 47"	東 緯 130° 30' 54"	北 緯 32° 50' 51"	北 緯 32° 59' 30"
梅林・奥野地区	滑石・共和地区	大浜・大栄地区	三ツ川・川床地区

◎市役所 東経130° 33' 42" 北緯32° 55' 30"

地勢と位置

本市は熊本県の北部に位置し、面積は90.3km²である。

熊本市と大牟田市の中間にあり、菊池川の右岸に市街地を形成している。南は有明海に面し、市域は東西10.8km、南北16.0kmに及ぶ。

市北部の県立公園小岱山の丘陵地帯と南部の海岸線の間に肥沃な穀倉地帯の玉名平野がひろがり、物資供給の要衝の地である。

市街地の北部、小岱山の麓には1200余年の歴史と泉質の優秀さを誇る玉名温泉があり、県北部の枢要の地である。



面 積 90.3平方キロメートル
東 西 10.8キロメートル
南 北 16.0キロメートル

産業

産業の振興で豊かな都市づくり



市の北部に位置する小岱山、市内を縦断する菊池川、この恵まれた緑と水を十分に生かし、豊かな明日の玉名市を築くため産業の振興をはかっています。

農業生産の安定向上、漁業の振興、調和のとれた企業誘致、商業サービス業の振興など産業に活力が満ちあふれる豊かな都市づくりを推進します。

農業

就業人口のうち28.78%を農業が占める
本市は、農業経営の安定なくして市民生活の安定ははかれません。

このため、土地基盤整備の促進、土地生産性の向上、水の効率的な利用、生産技術の向上、経営規模の拡大などを推進していきます。



■すくすくと育つ稻



■田植は6月中旬から下旬にかけて



■豊富な水は農業用水として他市町へも送られる

漁業

漁業の経営基盤を安定させるため、玉名漁港改修事業、大規模増養殖漁場造成事業などを推進しています。

■うなぎの養殖もさかん



■ビニールハウスでのメロン栽培



■養 蚕

商業

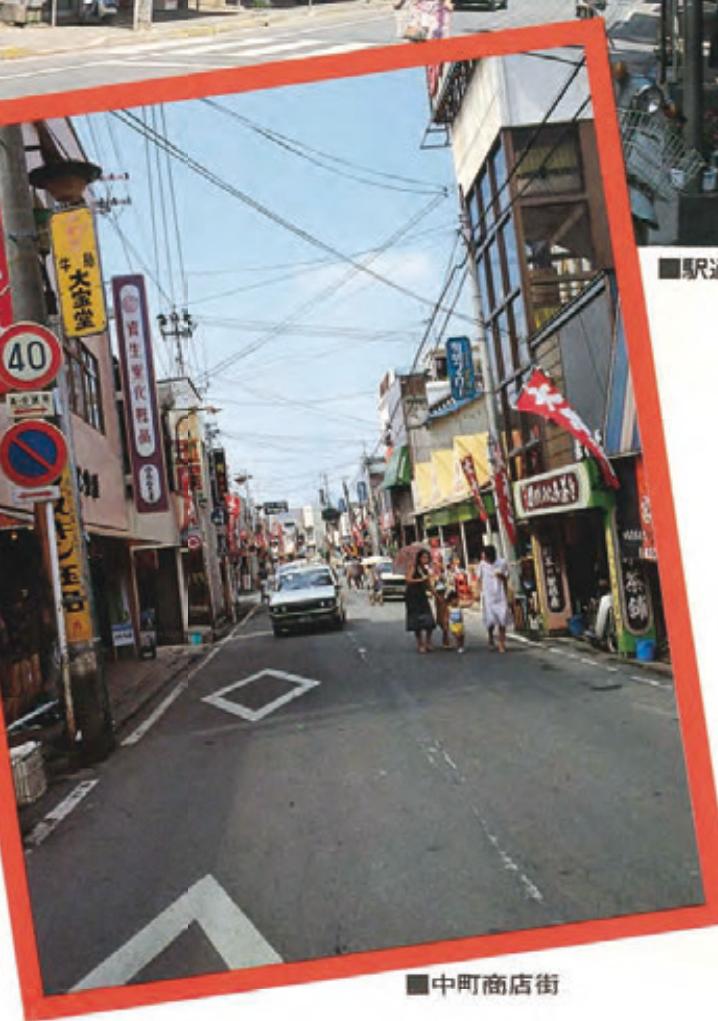
近年の大型店舗の進出が、購買力流出の歎どめとなって活況を呈していますが、消費の多様化や高度化に対処するため、経営の近代化、協業化をはかるとともに、金融の円滑化、商店街の整備等を推進し消費生活の安定をはかっています。



■スーパー内でショッピング



■駅通り商店街



■中町商店街

工業

本市の工業は、従来零細企業が殆んどでしたが、昭和40年代に始まった工業の地方分散により、大、中企業の誘致が行われた。

これらの企業誘致については、自然や農業との調和が配慮されています。

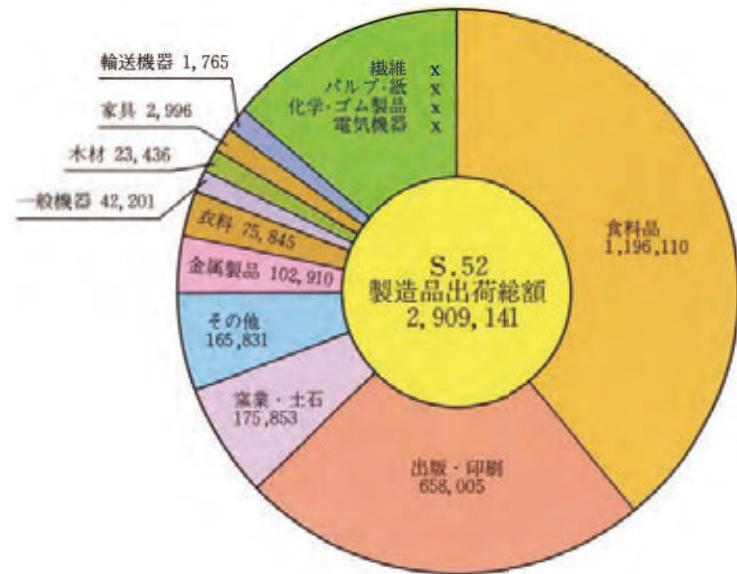


■ゴム製品工場



■印刷工場

工業出荷額 (単位:万円)



■味付のり工場



■有明大牟田工業用・上水道

環境

住みよい都市づくり



■加藤清正公がつくったはぜ並木、春は菜の花が美しい。

市民が健康で文化的な生活を営むには、快適な環境が必要です。道路、公園、住宅などの整備を進め、豊かな自然を公害、汚染から守り、公衆衛生の向上をはかり、住みよい都市づくりにつとめています。

交通

本市には、国鉄鹿児島本線と一般国道208号線が並行して走り、これに県・市道が交差しています。

国鉄には玉名、肥後伊倉と二つの駅があり、通勤、通学に利用されています。このほか、私営バスが近隣市、町に運行され、市民の足となっています。



■国鉄玉名駅



■バスターミナル



■九州縦貫自動車道菊水インターチェンジ

道路

本市には、一般国道 208号線の他、県道、市道が縦横に走っており、市民生活を支えています。

しかし、国道が市街地を東西に走っており朝夕は交通ラッシュがひどく、バイパスの建設が急がれています。



■都市計画事業で整備された街路



■56年完成予定の春出踏切立体交差工事



■伊倉バイパス

住宅・公園



■市営鰐塚団地



■緑にかこまれた蛇ヶ谷自然公園

本市の人口は、日立造船有明工場を含む有明臨海工業地帯の後背地として、近年増加の傾向にあり、中心部から東西に住宅化が進んでいます。

市民の憩の場としての公園は、県立公園小岱山のふもとと蛇ヶ谷自然公園があります。また、家族連れで楽しく遊び、運動ができる運動公園の建設計画も進められています。



■市営鰐塚団地

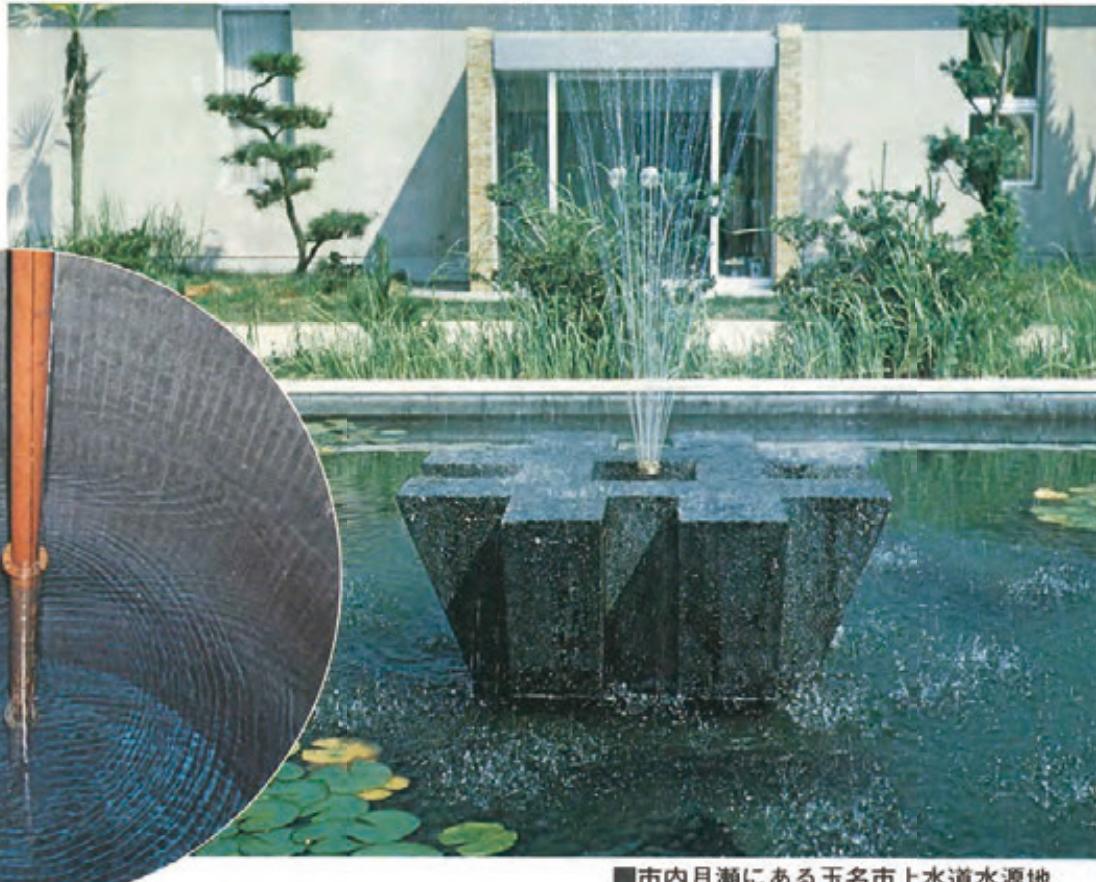
上・下水道

本市の上水道は、豊かな水量を持つ菊池川の恵を受け、良質の水を供給しており、配水区域の拡大につとめています。また、簡易水道の施設整備にもつとめています。

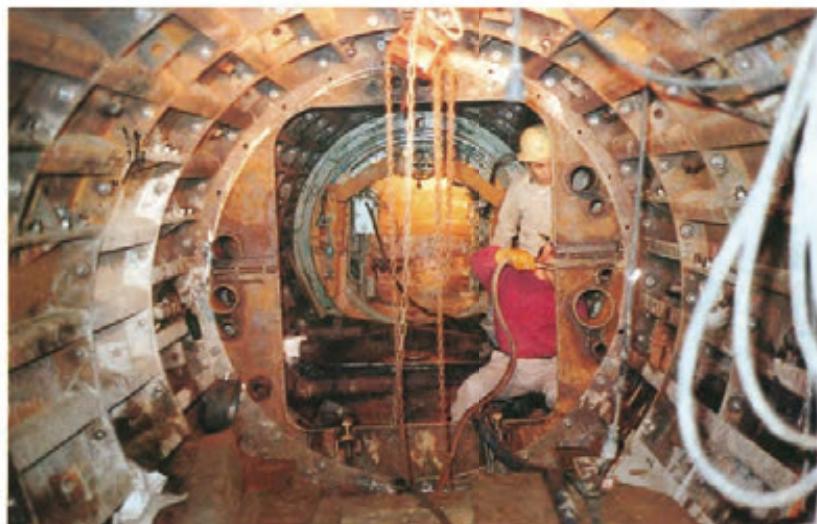
下水道は、市内中心部を対象区域とし、昭和56年度供用開始目標に工事が進められています。



■取水池



■市内月瀬にある玉名市上水道水源地



■公共下水道工事



■着々と進む終末処理場の建設

ゴミ処理・公害

昭和52年に完成したクリーンセンター（ゴミ焼却場）では毎日各家庭から出される膨大なゴミを完全に処理しています。

また、恵まれた自然環境を推奨していくため、計画的な公害対策を進めています。



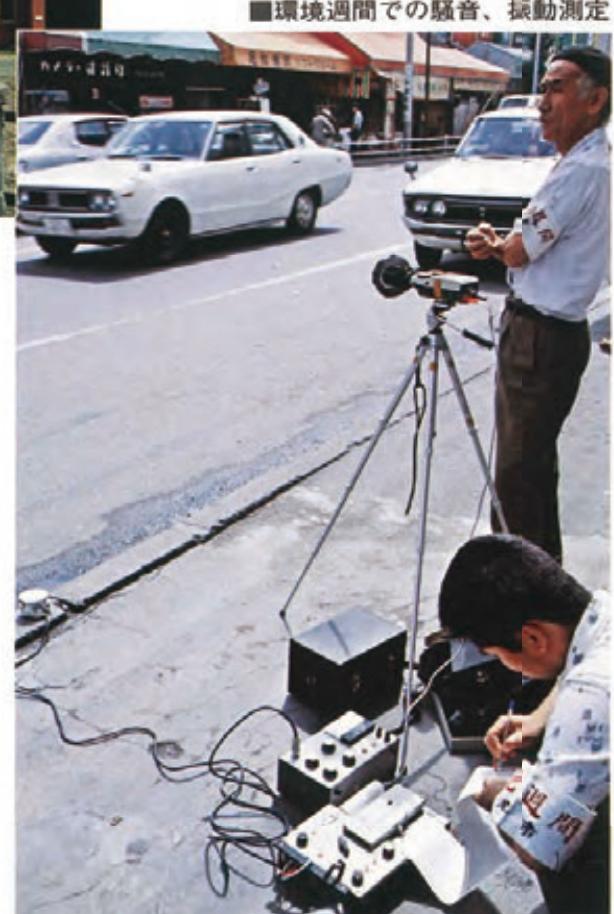
■クリーンセンター



■ゴミ収集



■運ばれるゴミの山



■環境週間での騒音、振動測定

公衆衛生

本市では、健康都市づくりをめざして、地元医師会の協力を得、妊産婦、乳幼児検診、各種予防接種などを行っています。そして成人病検診の半額補助、婦人ガン検診料の全額補助など、病気の早期発見、早期治療をめざした衛生行政を推進しています。



■玉名農村検診センター



■胃透視テレビX線室



■コンピューター室



■1才半児検診



■公立病院完成図



■献血



■成人病検診

福祉

心の通う福祉をめざして



市民ひとりひとりが安心して幸せな人生を送ることができるよう、社会的、経済的、身体的に恵まれない人々に、温かい手を差しのべ、心の通うきめ細かい福祉行政をめざしています。

保育所

現在、市内には市立9カ所、私立4カ所の施設があり、1070名の園児が通園しています。施設の整備をにぎり働く世帯の福祉の増進につとめています。

老人福祉

法は『老人は、多年にわたり社会の進展に寄与してきた者として敬愛されかつ、健全で安らかな生活を保障されるものとする』と定めています。

本市でも、この趣旨にのっとり、豊富な温泉を利用した老人福祉センター・養護老人ホーム、1人暮らしのお年寄りのめんどうを見るホームヘルパーの派遣などの老人福祉行政をすすめています。



■玉名市老人ホーム(右)と福祉センター(左)



■福祉センターでの盆栽講習



■福祉センターでの囲碁大会



■豊富な温泉でのんびりと



■ホームでは手芸なども



■ホームヘルパー

身障者福祉



■身体障害者憩いの家

身障者の方々の交流の場として身体障害者憩いの家があります。また社会福祉法人「玉医会」が運営する重度身体障害者療護施設「たまきな荘」があり、ここでは、地元医師団の診療協力があり、安心した毎日を送っています。



■不自由な体にもめげず



■身体障害者療護施設たまきな荘



■風呂場
— 23 —

教育

心身ともに健全な市民の育成



『玉名市の教育伝統をふまえて人間尊重の精神を基盤とし、心身ともに健全な市民の育成と明るく豊かなふるさとづくりに努める。』
…………昭和54年度玉名市教育目標より

学校教育

本市には、小学校13校、中学校4校があり、市教育目標にそって、豊かな人間性の育成、調和のとれた教育の推進、教育環境の整備と活用につとめています。



■教科外活動に農作業も一小学校



■クラブ活動でのプラスバンド練習ー中学校



■給食センター

社会教育

青少年の健全な育成、家庭教育の充実、明るい社会づくりを目標に、地域に根ざした社会教育を進めています。



■青年団の青年総合祭



■婦人会の量目検査



■子ども会のキャンプ



■市民ゲートボール大会



■老人スポーツ大会

社会体育

健康増進、体力づくりのため、近年特に社会体育が盛んになり、連日、学校の校庭や体育館を利用し、練習や試合が盛んに行われています。



■市民マラソン大会



■金栗杯玉名30kmマラソン大会

■市民体育祭



■婦人バレー ボール大会

文化

文化の香り高い都市づくり



■玉名市民合唱団



■市民会館

豊かな自然に恵まれた本市は、縄文時代から人々が定着し、文化が栄えたところです。以後もそれぞれの時代において文化が栄え、数多くの貴重な文化財を残しています。

そして、これらの伝統的文化を礎にして、近年、市民の文化活動も活発になってきました。



■郷土芸能一築山の花棒おどり

文化財の宝庫 玉名

自然環境に恵まれた玉名地方は、早くも縄文時代中期には人々が定着し、文化が栄えました。そして、弥生、古墳時代と進むにつれ、生活の場が広まり、大陸と交りをもつようになりました。このことがまた、玉名地方の文化財の特長のひとつともなっています。

現在、本市には、国指定6件、県指定9件、市指定44件の文化財があり、最近の古代史ブームで訪れる人も多くなっています。



■国指定大坊古墳石屋形奥壁



■大坊古墳の全景

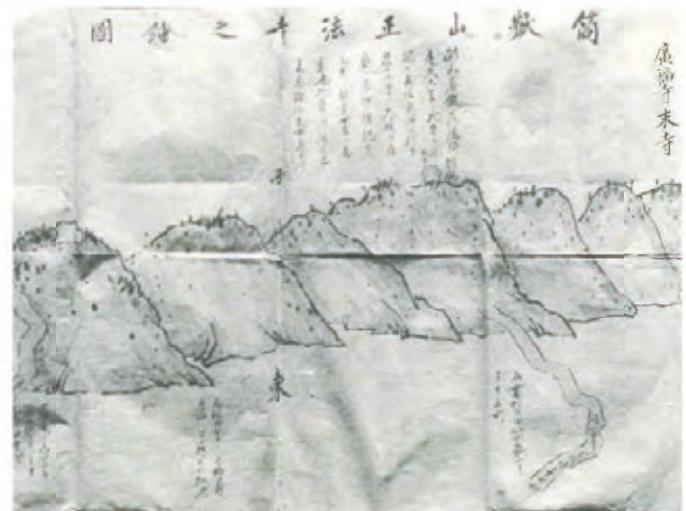
■国指定石貫穴観音横穴



■国指定石貫ナギノ横穴群



■県指定高瀬目鏡橋



■県指定正法寺絵図

■県指定青木磨崖梵字群



■県指定永安寺東古墳

永安寺西古墳

■県指定永安寺西古墳



■市指定絵馬「大浜港」



■市指定キリストン墓碑



■市指定繁根木補陀落渡海碑



■市指定僧豪潮建立宝幢印塔



■市指定聖觀世音菩薩像



■大坊古墳の発掘調査

自然・観光

豊かな自然・湧き出る温泉



県立公園小岱山、清流菊池川、良質の米を産む玉名平野などの豊かな自然と、そこに生まれた人々の文化遺産、湧き出る温泉。これらが、本市の観光資源となっています。



■山臼の藤



■伊倉南八幡宮の大樟

■清流菊池川

■初市 3月3、4日



■伊倉南北両八幡宮大祭
4月15日、10月15日



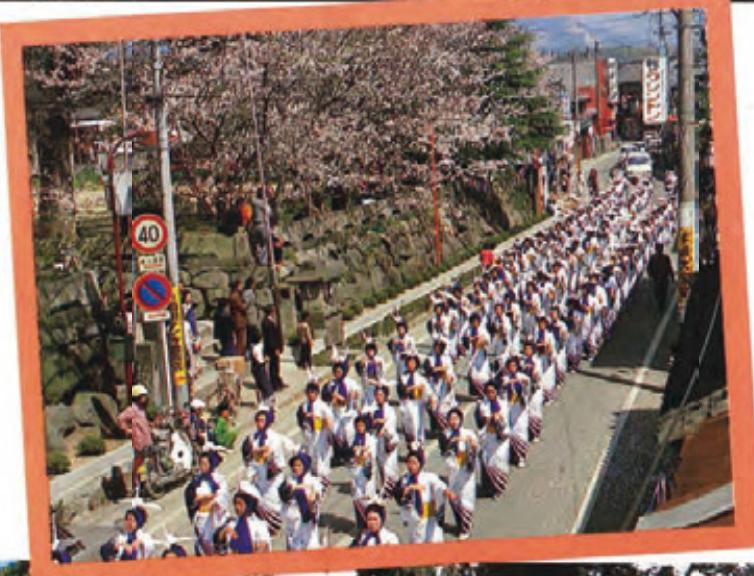
■夜市 6月下旬～8月上旬



■市民盆踊大会 8月13日



■春の温泉まつり
4月4、5日



■納涼花火大会 8月5日



■繁根木八幡宮大祭・節頭 10月28、29日

■梅林菅原神社大祭・やぶさめ 11月25日

まつりと
行事

九州自然歩道小岱山コース



玉名温泉を基点に、南関町の四ツ原まで延長12.6キロ約4時間半のコースです。小岱山をほぼ縦走するこのコースは有明海の眺望がすばらしく、自然と親しむには絶好です。

清流菊池川

阿蘇外輪山を源とする1級河川菊池川は、県北部一帯を潤し、玉名市で有明海に注いでいる。延長72キロに及び、その恵みは大いなるものがある。



■53年冬に訪れたオオハクチョウ



■白石堰



■市民グループによる河川の美化運動

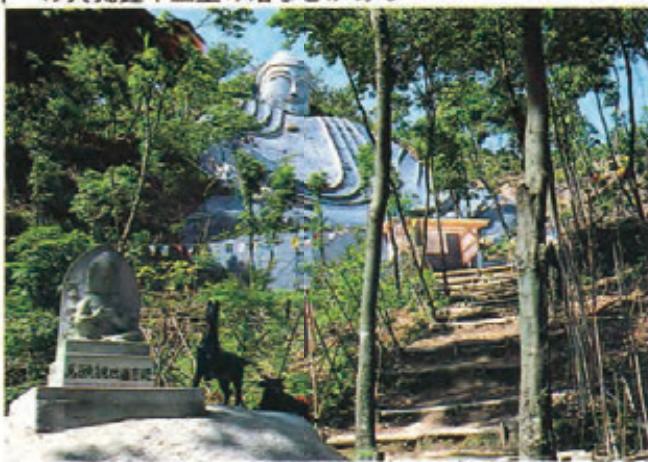


■汐干狩でにぎわう有明海の干潟

觀光玉名



■蓮華院奥の院 世界一の大梵鐘や五重の塔などがある



■大沢迦像 仏像では世界一の大きさ



■湯量が豊富で良質のラジウム泉



■蛇ヶ谷自然公園展望台 市内が一望のもとに

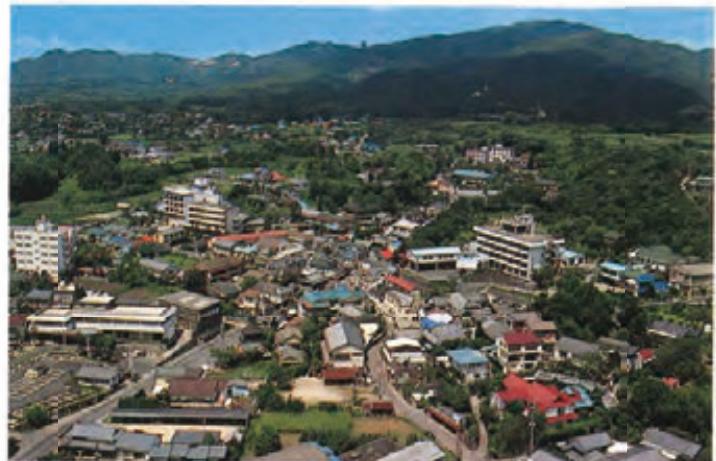


■蛇ヶ谷グラウンド



■オリエンテーリングコース

の見どころ



■温泉旅館29軒、収容人員約2,400名の玉名温泉



■仁王ヶ滝



■ゴルフ場



■名所めぐりは自転車で レンタサイクル



■みやげ物

広報・広聴

市民参加で明るい都市づくり

「市民参加の市政実現」は本市の重点施策の一つです。

最近の多様化する市民の要求を行政施策に取り入れるために、市政モニター制度を設け、あらゆる市民の声を市政に反映させています。

また、各種の相談所も開設し、市民総参加による明るい都市づくりをめざしています。



■声の広報を聞く人々



■広報紙



■声の広報作成



■市民の声をきく市長



■市政モニターの施設見学

■市政モニター全体会議

行政 市民のための行政



■玉名市役所庁舎



■市民課の窓口

市政は、豊かで明るい市民生活の基本となるものであり、公正、民主的に行わなければなりません。

これには、市民から直接選挙で選ばれた市長（執行機関）と市議会（議決機関）がそれぞれの権限と責任を分ちあい運営されます。

執行機関は、複雑多様化する社会情勢を的確に把握し、条例や予算などを議会にはかり、市民生活の向上につとめています。



■有明消防組合消防本部



■玉名市消防団練成大会

くらしの守り

市民が安心して暮せるよう、多くの人々が活動しており、あらゆる災害からわたくしたちを守っています。



■救急車



■消火活動



■54年7月の水害ー市内月田地区

■51年9月の台風被害



■事故をなくすためー交通指導隊



■恐ろしい交通事故

名誉市民

玉名市名誉市民条例は、昭和37年5月に制定され、広く社会文化の向上発展に寄与し市民が郷土の誇りとして尊敬する方に対し、市議会の同意を得て「玉名市名誉市民」の称号が贈られます。



故 新穂 登 免

明治5年熊本市坪井町、内藤仙太氏の二女として生れ、熊本尚絅女学校裁縫科を卒業、その後、熊本高等小学校教諭、引続き25年間教壇生活を送り、子女の裁縫教育に尽し、大正14年白梅学園玉名女子高等学校の前身である、高瀬女学院（玉名家政高等学校）を創設し、昭和32年まで、32年間同学園の理事長と校長を兼ね、その後理事長兼任名誉校長として玉名地方の子女教育に大きく貢献し昭和46年1月13日98才で没。
昭和33年 藍綬褒章受賞
昭和40年 勲四等宝冠章受賞



金栗 四三

明治24年熊本県玉名郡旧春富村の金栗信彦氏の四男として生れ、のち東京高等師範学校を卒業、第5回オリンピック ストックホルム大会に日本初の選手として出場、つづいて第7回アントワープ、第8回パリ大会と出場、その後も後輩の指導に専念し、日本マラソン界の父と仰がれる。現在も日本陸上競技連盟顧問。日本マラソン連盟会長として、マラソン選手の強化指導に尽している。
昭和30年 紫綬褒章 朝日文化章受賞
昭和39年 勲四等旭日小綬章受賞



故 橋本 二郎

明治37年玉名市滑石の橋本静太氏の二男として生れ、早稲田大学を卒業、昭和8年滑石村会議員となり以後滑石村長、熊本県議会議員を経て昭和21年衆議院議員となる。

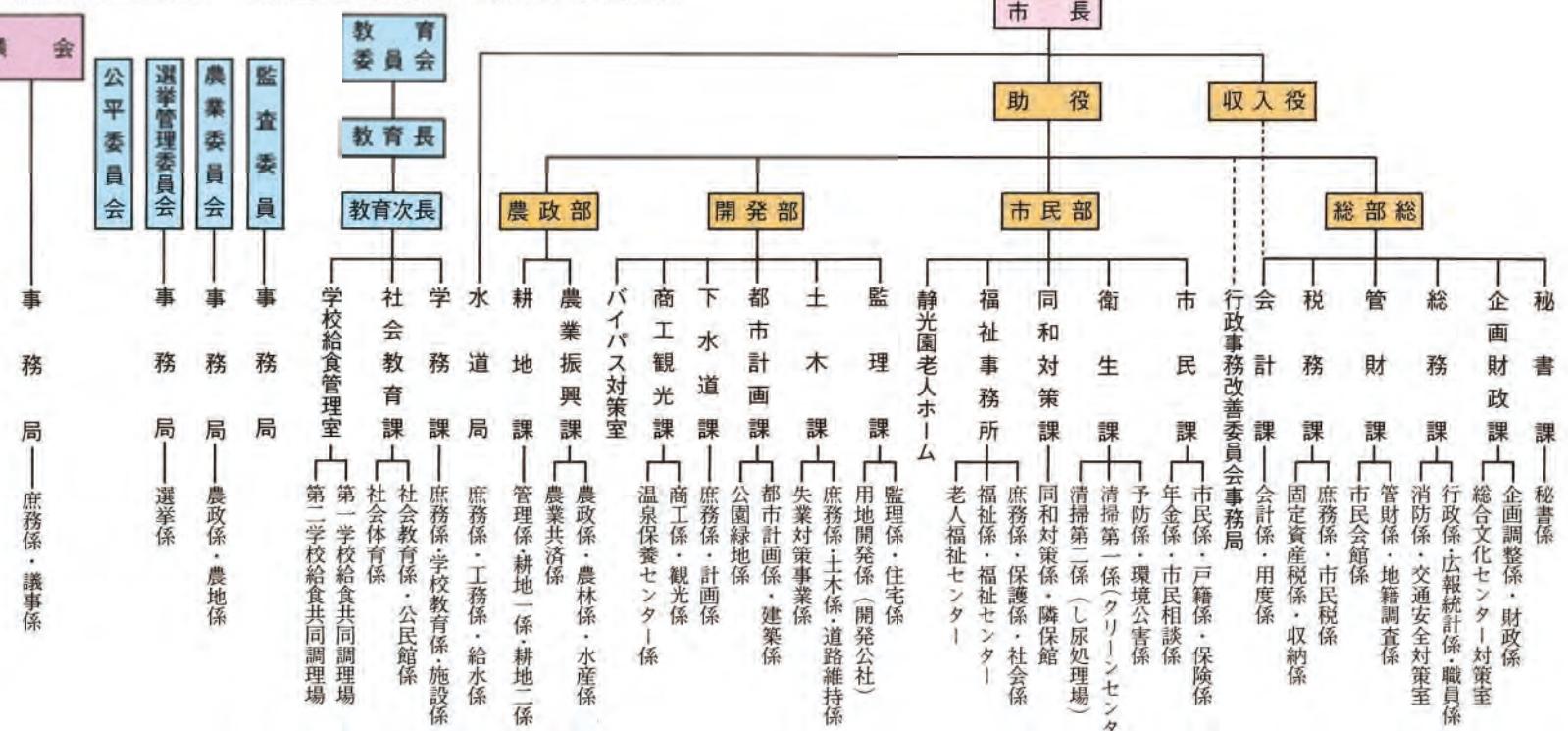
昭和29年近隣12町村の合併で誕生した玉名市の初代市長に選ばれ、期19年その職にあり市政の発展に尽力、その間、有明広域市町村圏協議会長、玉名平野土地改良区理事長など多くの公職を兼ね、その進展に貢献し昭和52年3月14日72才で没。

昭和52年 正五位 勲三等瑞宝章受賞



三役会一助役汐持正徳(左) 市長川原弘海(中) 収入役菊川勝(右)

機構図



行政機構

市民生活の安定向上をはかるには、これに即した行政機構の運営が必要です。

複雑多様化する行政需要に対処するため、本市は昭和48年6月、行政機構を改革し、部制（総務・市民・開発振興）を施行、更に昭和53年4月農政部を設置し、開発振興部を開発部に改称しました。

今後も、行政需要を的確に把握し、これに対応する行政機構の整備、事務の近代化、適正な人事管理などにより市民生活の安定向上をはかってまいります。



■市議会の もよ

議会

市議会は市民を代表する26名の議員で構成され、市行政の意思決定機関として、市政の基本的な重要事項（条例や予算）を議決するほか、市行政に対する検査権、調査権や市民からの請願・陳情の受理などを行う市民の代表機関です。



→ 常任委員会

総務委員会(7名)
経済委員会(7名)
建設委員会(6名)
文教厚生委員会(6名)



■議長 中山新次郎



■副議長 稲野 順二

あゆみ



昭和35年
国体レスリング会場(玉名中)に両陛下御来臨



昭和36年
繁根木川大坊で堤防決壊



昭和43年
ホームヘルパー設置



昭和46年
巡回文庫はじまる



昭和47年
蛇ヶ谷自然公園に記念樹の森できる



昭和49年
老人ホーム静光園移転、福祉センター完成



昭和51年
糠峯団地造成進む



昭和51年
駅通り商店街にアーケードできる



昭和52年
小岱山林道開通



昭和45年
交通指導隊発足

昭和45年
交通公園開設

昭和45年
第1回市政を語る会開かる



昭和50年
お年寄りにゲートボールが盛んになる

昭和50年
レンタサイクルはじまる

昭和50年
川上哲治氏の野球教室開かる



昭和52年
第32回県民体育祭本市で開催

昭和53年
九州自然歩道小岱山コース開通

昭和53年
新大浜橋完成

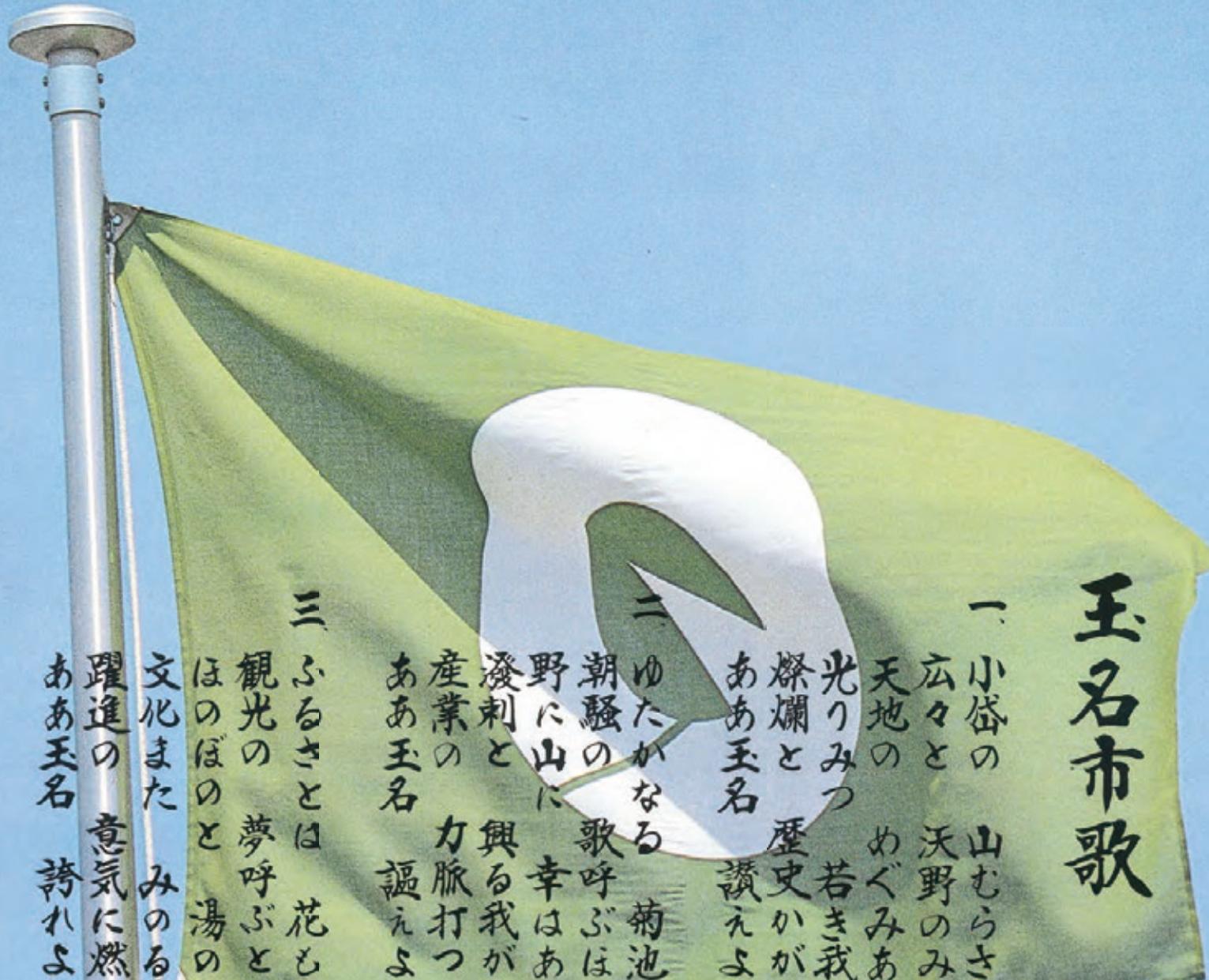
玉名市歌

辰巳利郎 梅沢信一 作詞
作曲

一 小岱の 山むらさきに
広々と 沢野のみどり
天地の めぐみあつめて
光りみつ 若き我が市よ
燐爛と 歴史かがやく
ああ玉名 讀えよその名

二 ゆたかなる 菊池のながれ
朝騒の 歌呼ぶはとり
野に山に 幸はあふれて
漬刺と 興る我が市よ
産業の 力脈打つ
ああ玉名 誇えよその名

三 ふるさとは 花もかおりて
観光の 夢呼ぶところ
ほのぼのと 湯の香ただよい
文化また みのる我が市よ
躍進の 意気に燃えたつ
ああ玉名 誇れよその名



資料編

目次

あ ゆ み	2
気 象 ・ 面 積	3
人 口	4
行 財 政	5
民 生	9
産 業 経 済	11
運 輸・通 信	14
建 設	15
上 水 道	16
教 育	17
警 察 ・ 消 防	20
市 民 生 活	21
市内主要官公庁	23

凡 例

- 表示単位はメートル法に統一した。
- 数字の単位未満は四捨五入することを原則とした。したがって合計の数字と内訳の計とが一致しない場合もある。
- 符号の用法はつぎのとおりである。
 - 0 表意単位に満たないもの
 - 該当数字がないもの
 - X 統計法に基づき発表をさしつかえたもの
 - △ 減少

あ ゆ み

西歴	年号	事項	西歴	年号	事項
840	承和 7	正野神社建立(阿蘇神社と並ぶ式内社)	1961	昭和 36	玉名平野二地改良区設立 改良事業に着手
1589	天正 17	加藤清正、第1期菊池川干拓工事着手	1962	37	白石堰改修工事始まる 昭和39年完成
1592	20	加藤清正、軍1万を率い高瀬港より朝鮮遠征(毛岐)へ出帆	+	+	八富地区簡易水道完成
1605	慶長 10	菊池川干拓工事完成	+	+	玉名市農業協同組合発足(11農協合併)
1874	明治 7	大浜海岸で海苔の海面試験養殖始まる	+	+	名賀市民条例制定 金栗四三、新穂登免氏推さる
1877	10	西南の役、戦場最北端の官軍本宮がおかれ、鐵仁親王とどまる	1963	38	県立玉名工業高等学校開校 新産都市指定 市消防署発足
1878	11	玉名郡役所(郡長)設置(7町165村生まれる)	+	+	第1次農業構造改善事業着手 昭和45年完了
1889	22	市町村制の実施 玉名郡42町村 人口13,742人	1964	39	し尿処理場完成 市営温泉保養センター完成
+	+	郡役所高瀬におかれる	1965	40	農協会館完成 商工会館完成
1891	24	鹿児島本線開通、高瀬駅(昭和31年玉名駅に改称)ができる	+	+	市営大衆浴場完成 鹿児島本線電化
1903	36	熊本県立熊本中学校玉名分校開校 明治39年県立玉名中学校となる	1966	41	有線放送電話開通(全自動ダイヤル式)
1911	44	電話一般通話開始	1967	42	玉名市民会館完成 菊池川一級河川指定
1912	45	金栗四三氏 第5回オリンピック、スティックホルム大会に参加	1968	43	鹿児島本線複線開通(熊本-荒尾間)
+	+	熊本県玉名郡立実科高等女学校開校 大正12年県立高瀬高等女学校となる	1970	45	玉名市「老人憩の家」完成 有明広域町村圏指定
1922	大正 11	高瀬大橋完成(当時県下最長の鉄筋コンクリート橋 長さ320m、巾5.6m)	+	+	玉名市交通指導隊発足 玉名市交通公園開設
1925	14	火力発電所運転開始(昭和30年閉鎖)	+	+	第2次農業構造改善事業着手 昭和50年完了
+	+	新穂登免氏、高瀬町に私立玉名実践女子学院設立(現玉名女子高等学校)	+	+	一本松団地着工 昭和52年完成
1935	昭和 10	肥後伊倉駅できる	1971	46	小岱山保全林事業始まる 昭和50年完了 遊園文庫誕生
1942	17	高瀬町と皆富村が合併し玉名町となる(2,053世帯、10,251人)	+	+	統合玉名中学校発足(玉名町、栗山、清石)昭和48年校舎完成
1948	23	玉名中学校と高瀬高等女学校が合併し、県立玉名高等学校となる(旧制玉中を第1部、旧制高瀬高女を第2部、田町村組合立玉名農業学校を第3部とする別学制総合高等学校)	1972	47	有明消防組合発足
1952	27	玉名高等学校第3部独立し、県立玉名農業高等学校となる	1973	48	蛇ヶ谷公園運動広場完成
1954	29	玉名市市制施行(玉名町、伊倉町、大浜町、栗山村、滑石村、豊水村、八喜村、梅林村、小田村、玉名村、月瀬村、石賀村の12か町村が合併、8,955世帯、46,569人、初代市長 橋本二郎氏)	+	+	公共下水道工事着手 玉名漁港改修事業着手
+	+	玉名市外4か町村組合立済病院完成	+	+	機構改革により部制を実施(総務部、市民部、開発振興部)
+	+	「玉名市政だより」創刊	+	+	総合団地着工 昭和52年完成(分譲完了)
+	+	玉名市消防本部設置	+	+	小岱山キャンプ場完成
1955	30	玉名市状況まる 鹿茶焼却場完成(昭和52年休止)	1974	49	老人ホーム移転
1956	31	南関町三ッ川地区玉名市に編入	+	+	福祉センター、老人福祉センター完成 市民憲章制定
+	+	市立養老院静光園開設(現老人ホーム静光園)	1975	50	松木地区区画整理事業着手
+	+	第1回市民体育祭開催 玉名市奨学資金制度制定	+	+	公共下水道終末処理場着手
1957	32	上水道工事着手(昭和34年完成)第12回県民体育祭開催	+	+	熊本県有明大牟田工業用水道完成
1958	33	玉陵中学校開校(錦水中学校と小田中学校合併)	1976	51	玉名農村診療センター完成
+	+	小田小学校開校 玉名市農事放送(有線放送)開始(昭和41年廃止)	1977	52	小岱山林道開通 第32回県民体育祭開催
+	+	玉名橋架替工事完成	+	+	故橋本二郎氏名誉市民に推さる
1959	34	市庁舎落成	+	+	クリーンセンター完成
+	+	西部マラソン30キロ大会玉名市で開かれる(これより玉名市に定着、昭和45年より金栗杯玉名30キロマラソン大会に改称)	+	+	し尿処理場増設工事完成
+	+	国道208号線開通(町部)	1978	53	春出踏切立体交差着手
1960	35	蛇ヶ谷児童遊園地完成 高瀬大橋架替工事完成	+	+	九州自然歩道小岱山コース完成
+	+	第15回国体 玉高で軟式庭球、玉中でレスリング行われる	+	+	国営土地改良事業直轄子母横島地区公有水面埋立工事完成(市分 1,452,874m ²)
+	+	玉名駅改築	+	+	有明中学校発足(大豊中、横島中統合)
1961	36	大倉団地着工 昭和48年完成 伊倉隣保館開設	+	+	身体障害者憩の家開設
			+	+	新大浜橋利用開始
			+	+	市政モニター制度発足 声の広報開始

気象・面積

気象の状況

(昭和53年)

区分	気温 (C°)				降水量 (mm)		
	平年	平均	極最高	極最低	平年	総量	最大日量
1月	5.2	6.1	15.5	-3.5	51	48	15
2月	6.5	5.5	18.0	-5.0	93	43	21
3月	8.6	9.4	19.5	-4.0	74	60	16
4月	14.8	14.8	26.5	3.0	175	125	29
5月	18.9	20.6	30.5	8.0	138	79	42
6月	22.2	25.3	35.0	14.0	378	358	96
7月	26.8	29.9	37.0	23.5	318	21	10
8月	27.7	29.1	35.5	22.0	120	50	15
9月	24.0	25.5	34.5	17.0	184	115	37
10月	18.0	17.6	28.0	4.5	78	41	27
11月	11.9	12.6	22.5	-1.0	59	55	29
12月	7.1	7.7	19.0	-3.5	63	45	22
合計					1,741	1,040	
平均	16.0	17.0			145	87	

(有明消防組合玉名消防署調
(平年は岱明地域気象観測所調)

土地面積

(昭和54年4月1日)

区分	宅地	田	畠	池沼	山林	原野	雜種地	その他	計
面積km ²	6.00	23.99	14.59	0.08	16.14	1.23	—	0.71	27.56
構成比%	6.64	26.57	16.16	0.09	17.87	1.36	0.79	30.52	100.00

(大浜地先(横島干拓)1.45km²を含む)

人口

世帯数・男女別人口の推移

(単位:戸・人)

年次	世帯数	男	女	計
大正9年	5,872	15,083	16,350	31,433
大正14年	5,605	16,042	16,991	33,033
昭和5年	6,267	16,516	17,926	34,442
昭和10年	6,433	16,769	18,099	34,868
昭和15年	6,180	15,596	18,415	34,011
昭和20年	8,836	21,686	24,261	45,947
昭和25年	8,862	22,101	24,385	46,486
昭和30年	9,501	23,296	25,727	49,023
昭和35年	9,820	22,459	25,277	47,736
昭和40年	10,315	21,221	24,077	45,298
昭和45年	10,611	19,824	22,857	42,681
昭和50年	11,298	20,100	22,737	42,837
昭和54年 4月1日	12,241	21,122	23,402	44,524

人口動態

(単位:人)

年次	総数	自然動態			社会動態		
		出生	死亡	自然増	転入	転出	社会増
昭和49年	194	620	378	242	2,513	2,561	△ 48
昭和50年	△ 55	573	338	240	2,288	2,583	△ 295
昭和51年	381	608	315	293	2,362	2,274	88
昭和52年	421	599	310	289	2,286	2,154	132
昭和53年	322	593	343	255	2,220	2,153	67

(資料:国勢調査、54年は市民調査)

校区别・年令別人口

(昭和54年3月31日現在 単位:人)

区分	0~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~69	70以上	合計
玉名町	1,953	1,030	936	731	969	988	941	970	1,019	975	791	1,288	1,129	13,720
築山	911	327	290	315	570	431	347	299	291	224	176	268	211	4,660
滑石	454	345	324	259	284	235	261	340	314	308	245	356	345	4,070
大浜	450	259	283	273	263	188	229	272	279	221	198	311	245	3,471
豊水	216	119	95	92	102	124	82	103	113	108	79	169	139	1,541
伊倉	702	328	302	284	391	328	305	320	333	280	247	401	338	4,559
八嘉	647	267	220	230	351	305	252	269	198	252	221	301	261	3,774
梅林	223	158	193	148	149	105	144	145	164	160	134	236	240	2,199
小田	131	66	76	77	97	62	63	72	91	90	81	124	130	1,160
玉名	235	155	131	88	139	121	137	143	144	137	115	182	221	1,948
石貫	150	97	104	89	85	74	77	92	110	94	86	159	171	1,388
月瀬	163	73	66	72	89	66	61	66	73	92	71	126	115	1,133
三ツ川	98	54	77	57	66	46	41	57	74	70	50	113	98	901
合計	6,333	3,278	3,097	2,715	3,555	3,073	2,940	3,148	3,203	3,011	2,494	4,034	3,643	44,524

歴代三役

市長				助役			
代次	氏名	就任年月日	退任年月日	代次	氏名	就任年月日	退任年月日
初代	橋本二郎	昭和29年4月27日	昭和33年4月26日	初代	吉田安二	昭和29年12月27日	昭和33年12月26日
2代	橋本二郎	昭和33年4月27日	昭和37年4月26日	2代	吉田安二	昭和33年12月27日	昭和37年3月3日
3代	橋本二郎	昭和37年4月27日	昭和41年4月26日	3代	三浦強助	昭和38年4月1日	昭和41年4月26日
4代	川原弘海	昭和41年4月27日	昭和45年4月26日	4代	大石正己	昭和41年12月21日	昭和45年4月27日
5代	橋本二郎	昭和45年4月27日	昭和49年4月26日	5代	沙持正徳	昭和46年7月2日	昭和50年7月1日
6代	橋本二郎	昭和49年4月27日	昭和52年3月14日	6代	沙持正徳	昭和50年7月2日	昭和54年7月1日
7代	川原弘海	昭和52年4月29日		7代	沙持正徳	昭和54年7月18日	

収入役			
代次	氏名	就任年月日	退任年月日
初代	杉島円	昭和33年5月16日	昭和37年5月15日
2代	杉島円	昭和37年5月16日	昭和41年5月15日
3代	益田正弘	昭和41年12月21日	昭和45年12月20日
4代	木下信之	昭和46年6月21日	昭和50年6月20日
5代	木下又人	昭和50年6月21日	昭和54年6月20日
6代	菊川勝	昭和54年7月19日	

市職員数

(昭和54年4月16日現在・単位：人)

区分	総数	吏員	その他	男	女	定数
市長事務部局	405	403	2	256	149	423
教育委員会事務部局	92	92	0	26	66	99
議会事務部局	6	6	0	4	2	6
水道事業事務部局	17	17	0	15	2	17
監査委員事務部局	2	2	0	1	1	2
農業委員会事務部局	9	9	0	7	2	9
選挙管理委員会事務部局	4	4	0	3	1	4
公平委員会事務部局	1	1	0	0	1	1
計	536	534	2	312	224	561

歴代議長

代次	氏名	就任年月日	退任年月日
初代	猿渡 順藏	昭和29年4月5日	昭和30年2月28日
2代	藏土 義任	昭和30年3月1日	昭和31年10月26日
3代	沼田 一	昭和31年10月27日	昭和34年2月28日
4代	藏土 義任	昭和34年3月5日	昭和36年3月9日
5代	藏土 義任	昭和36年3月10日	昭和38年2月7日
6代	藏土 義任	昭和38年3月8日	昭和40年5月5日
7代	藏土 義任	昭和40年3月6日	昭和41年7月2日
8代	中山新次郎	昭和41年8月29日	昭和45年8月9日
9代	黒田 孝	昭和45年8月19日	昭和49年8月9日
10代	田川 正義	昭和49年8月20日	昭和53年8月9日
11代	中山新次郎	昭和53年8月22日	

歴代副議長

代次	氏名	就任年月日	退任年月日
初代	小山軍次郎	昭和29年4月5日	昭和30年2月28日
2代	安東 幹	昭和30年3月1日	昭和34年10月26日
3代	藏土 義任	昭和31年10月27日	昭和34年2月28日
4代	熊野 秀次	昭和34年3月5日	昭和35年3月9日
5代	熊野 秀次	昭和36年3月10日	昭和38年3月7日
6代	黒田 孝	昭和38年3月8日	昭和43年3月5日
7代	中山新次郎	昭和40年3月6日	昭和41年7月2日
8代	大磯 正人	昭和41年8月29日	昭和45年8月9日
9代	小山 幸男	昭和45年8月19日	昭和49年8月9日
10代	天木 利彦	昭和49年8月20日	昭和52年6月7日
11代	大潮 勢一	昭和52年6月7日	昭和53年8月9日
12代	稲野 順二	昭和53年8月22日	

常任委員会の構成

委員会名	委員数	所管
総務委員会	7名	秘書課、企画財政課、総務課 管財課、税務課、会計課 市民課、選舉管理委員会、監査委員、公平委員会
経営委員会	7名	農業振興課、耕地課、商工観光課、管財課 農業委員会
建設委員会	6名	監理課、土木課、都市計画課 バイパス対策室 下水道課、水道局
文教委員会	6名	教育委員会、衛生課 福祉事務所、同和対策課 市民課、企画財政課、税務課

市議会議員名簿

○印は委員長（昭和54年9月1日現在満年令）

議席番号	氏名	年令	所属委員会	備考	議席番号	氏名	年令	所属委員会	備考	議席番号	氏名	年令	所属委員会	備考
1	高木 桂介	46	経済委員会		10	安東 貞雄	67	文教委員会		19	高木 満範	48	建設委員会	○
2	山中 朝則	62	総務委員会		11	松岡 洋治	45	文教委員会		20	中山新次郎	62	総務委員会	議長
3	徳永 信治	32	総務委員会		12	寺真 典仁	50	総務委員会		21	森 国雄	58	建設委員会	
4	榎本 正一	47	建設委員会		13	坂本 又喜	63	経済委員会	○	22	田川 正義	49	経済委員会	
5	尾浦 武重	34	総務委員会		14	中島 隆徳	51	文教委員会		23	木下 昭男	49	文教委員会	○
6	千賀 忠尋	39	文教委員会		15	中川 潤一	46	経済委員会		24	石元 孝	57	総務委員会	○
7	大磯 邦昭	42	建設委員会		16	上田健二郎	54	建設委員会		25	稻野 順二	65	総務委員会	副議長
8	堀本 泉	43	経済委員会		17	田代 俊男	54	建設委員会		26	大潮 勢一	58	経済委員会	
9	板井 健次	48	経済委員会		18	城戸 剛	47	文教委員会						

昭和54年度一般会計当初予算

歳 入

(単位:千円・%)

区分	昭和54年度		昭和53年度		
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	最終予算額
市 税	1,474,200	19.52	1,328,540	20.57	1,354,017
地 方 謾 与 税	67,300	0.89	62,800	0.97	61,500
娛樂施設利用税交付金	21,300	0.28	17,700	0.28	20,200
自動車取得税交付金	56,300	0.75	51,000	0.79	51,000
地 方 交 付 税	1,942,000	25.71	1,619,700	25.08	1,773,623
交通安全対策特別交付金	8,850	0.12	9,000	0.14	9,847
分 担 金 及 負 担 金	77,008	1.02	70,574	1.09	71,663
使 用 料 及 手 数 料	109,936	1.46	105,475	1.63	103,322
国 庫 支 出 金	2,056,278	27.22	1,825,612	28.27	1,819,356
県 支 出 金	316,614	4.19	246,992	3.83	272,868
財 産 収 入	16,972	0.22	64,411	1.00	206,630
寄 附 金	2,146	0.03	4,550	0.07	5,020
入 金	56,000	0.74	5,001	0.08	1
綠 越 金	-	0.00	1	0.00	90,315
諸 収 入	221,859	2.94	244,127	3.78	163,450
市 債	1,126,400	14.91	802,300	12.42	835,100
合 計	7,553,165	100.00	6,457,783	100.00	6,837,912

歳 出

(単位:千円・%)

区分	昭和54年度		昭和53年度		
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	最終予算額
議 会 費	120,553	1.60	114,292	1.77	122,219
総 務 費	853,528	11.30	810,763	12.56	944,934
民 生 費	1,830,121	24.23	1,654,090	25.62	1,674,881
衛 生 費	293,535	3.89	290,170	4.49	279,006
労 働 費	120,361	1.59	104,581	1.62	106,147
農 林 水 産 業 費	623,174	8.25	491,675	7.61	550,353
商 工 費	162,663	2.15	140,185	2.17	144,526
土 木 費	1,613,575	21.36	1,370,564	21.22	1,301,395
消 防 費	227,466	3.01	208,573	3.23	217,395
教 育 費	1,111,765	14.72	786,134	12.17	996,085
災 害 復 旧 費	-	11	0.00	11,110	0.17
公 債 費	575,219	7.62	470,645	7.29	464,521
諸 支 出 金	11,194	0.15	1	0.00	10,001
予 備 費	10,000	0.13	5,000	0.08	5,000
合 計	7,553,165	100.00	6,457,783	100.00	6,837,912

昭和53年度性質別決算見込

(単位:千円・%)

区分	決算見込額	構成比
人 件 費	1,762,015	26.0
扶 助 費	1,279,543	18.9
公 債 費	460,774	6.9
物 件 費	326,080	4.8
維 持 補 修 費	39,595	0.6
補 助 費 等	476,166	7.0
積 立 金	247,674	3.7
投資及び出資金・貸付金	120,430	2.5
繰 出 金	18,440	0.3
投 資 的 経 費	1,989,893	29.3
内 普通建設事業費	1,870,625	27.5
うち単独事業費	580,280	8.6
災害復旧事業費	24,997	0.4
失業対策事業費	94,271	1.4
合 計	6,721,010	100.0

昭和53年度市税の状況

(単位:千円・1人当たり・円)

区分	決算見込額	構成比
市 民 税	681,529	48.8
固 定 資 産 税	454,428	32.6
軽 自 動 車 税	24,909	1.8
た ば こ 消 費 税	120,049	8.6
電 気 税	61,215	4.4
鉱 產 税	35	0.0
木 材 引 取 税	20	0.0
特 別 土 地 保 有 税	1,015	0.1
入 游 税	15,404	1.1
都 市 計 画 税	35,869	2.6
合 計	1,394,473	100.0
1人当たり税負担額	31,232	
徵 収 率 %	99.1	

投票所別選挙人名簿登録人員 (昭和54年4月6日現在・単位:人)

投票所		男	女	計	地区
第 1	玉名商工会議所	694	827	1,521	玉名町
第 2	玉名第1保育所	850	1,091	1,941	・
第 3	玉名町小学校	1,520	2,010	3,530	・
第 4	南出公民館	1,329	1,563	2,892	・
第 5	築地公民館	761	835	1,596	築山
第 6	山田公民館	717	798	1,515	・
第 7	安楽寺	598	669	1,267	滑石
第 8	滑石小学校	541	624	1,165	・
第 9	共和公民館	251	268	519	・
第 10	大浜小学校	705	855	1,560	大浜
第 11	ちどり保育所	436	477	913	・
第 12	豊水小学校	511	608	1,119	豊水

投票場所		男	女	計	地区
第 13	伊倉小学校	843	991	1,834	伊倉
第 14	光専寺	616	775	1,391	・
第 15	八嘉保育所	807	893	1,700	八嘉
第 16	来顯寺	186	204	390	・
第 17	田崎公民館	272	294	566	・
第 18	梅林小学校	719	835	1,554	梅林
第 19	奥野公民館	42	41	83	・
第 20	小田小学校	401	485	886	小田
第 21	玉名小学校	675	759	1,434	玉名
第 22	月瀬小学校	385	450	835	月瀬
第 23	石貫小学校	460	577	1,037	石貫
第 24	三ツ川小学校	305	360	665	三ツ川

(資料: 選挙管理委員会)

主要選挙投票状況

(単位:人・%)

区分	当日有権者数			投票者数			投票日	投票率
	男	女	計	男	女	計		
県知事選挙	13,632	16,480	30,112	7,038	8,363	15,401	昭和50年2月2日	51.15
県議会議員選挙	13,593	16,412	30,005	6,916	8,084	15,000	昭和50年4月13日	49.99
衆議院議員選挙	14,093	16,797	30,890	11,038	13,172	24,210	昭和51年12月5日	78.37
市長選挙	13,940	16,607	30,547	12,416	15,221	27,637	昭和52年4月29日	90.47
参議院議員選挙	14,252	16,910	31,162	10,678	12,737	23,415	昭和52年7月10日	75.14
参議院議員補選挙	14,275	16,954	31,229	6,907	8,153	15,060	昭和52年9月4日	48.22
市議会議員選挙	14,415	17,041	31,456	13,376	16,023	29,399	昭和53年7月30日	93.46
県知事選挙	14,485	17,167	31,652	6,334	7,223	13,557	昭和54年2月4日	42.83
県議会議員選挙	14,479	17,158	31,637	11,944	14,343	26,287	昭和54年4月8日	83.09
参議院議員補選挙	14,560	17,246	31,806	4,887	4,894	9,781	昭和54年4月22日	30.75

(資料: 選挙管理委員会)

民 生

福祉年金給付状況

(単位:人・千円)

年度 (昭和)	総額		老齢福祉年金		障害福祉年金		母子福祉年金	
	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額
45	—	61,372	—	49,161	—	11,755	—	456
46	—	74,587	—	61,735	—	12,346	—	506
47	—	112,769	—	93,320	—	18,872	—	577
48	—	168,690	—	142,680	—	25,650	—	360
49	3,291	289,780	2,896	239,427	391	49,868	4	485
50	3,103	445,807	2,707	365,742	395	79,868	1	197
51	2,990	483,128	2,576	390,701	412	91,956	2	471
52	2,933	526,944	2,513	423,640	419	103,046	1	258
53	2,834	558,018	2,411	443,886	422	113,874	1	258

国民年金加入支給状況

年度 (昭和)	加入者数(人)			支給状況(件)						支給額 (千円)	死亡 一時 金 件数	支給額 (円)
	総数	強制	任意	総数	老齢	障害	母子	遺児	寡婦			
45	14,319	11,831	2,488	155	—	—	39	111	5	15,053	40	344,000
46	13,904	11,774	2,130	343	178	50	110	5	—	27,288	42	508,000
47	14,365	12,132	2,233	520	345	63	108	4	—	35,536	31	378,000
48	14,247	11,966	2,281	660	490	62	106	2	—	100,676	42	545,500
49	13,375	11,667	1,708	1,438	1,243	74	113	1	7	210,700	31	535,500
50	13,255	11,558	1,697	2,113	1,909	87	103	3	11	370,741	31	532,500
51	13,234	11,387	1,847	2,565	2,352	100	94	3	16	509,675	30	640,500
52	13,157	11,266	1,891	2,885	2,673	112	80	3	17	617,110	27	672,000
53	13,191	11,221	1,970	3,217	3,008	110	74	2	23	719,553	28	686,500

国民健康保険状況

年度 (昭和)	加入状況		療養諸費用						保険税	
	世帯数	被保険者数	件数	費用額	保険者負担額	一世帯当たり費用額	一人当たり費用額	一人当たり受診件数	一世帯当たり	一人当たり
45	7,520	27,208	125,220	413,819	288,087	55,029	15,209	4.5	15,426	4,260
46	7,460	26,244	126,376	459,062	323,791	61,536	17,492	4.8	14,565	4,140
47	7,407	25,503	125,379	548,312	390,182	74,026	21,500	5.1	16,523	4,799
48	7,369	24,698	140,683	712,399	496,558	96,675	28,844	5.7	18,010	5,267
49	7,176	23,347	134,107	957,752	668,623	133,466	41,022	5.7	28,102	8,451
50	7,076	22,655	134,178	1,111,229	772,126	157,042	49,050	5.9	41,111	12,656
51	7,119	22,390	135,715	1,327,012	929,039	186,404	59,268	6.2	46,676	14,657
52	7,200	22,307	145,879	1,545,593	1,083,261	214,666	69,287	6.4	51,319	16,330
53	7,312	22,178	145,998	1,920,652	1,348,209	262,671	86,602	6.5	56,613	18,387

生活保護状況

年 度	保護費支給額 千円	1カ月平均世帯数 <small>※単位</small>	1カ月平均員 <small>人</small>	1000人当たり <small>人</small>	1カ月1人当たり付額 円
昭和45年度	183,690	466	1,016	23.0	15,066
昭和46年度	227,515	510	1,087	25.5	17,442
昭和47年度	315,038	553	1,131	26.5	23,212
昭和48年度	360,477	559	1,105	25.9	27,185
昭和49年度	454,296	569	1,129	26.5	33,532
昭和50年度	540,333	548	1,054	24.7	42,720
昭和51年度	539,900	481	894	20.8	50,326
昭和52年度	549,213	442	800	18.5	57,209
昭和53年度	628,999	446	806	18.4	65,032

福祉施設状況

(単位：人)

区 分	経営主体	施 設 数	定 員	職 員 数
保 育 所	市 立	9	820	70
保 育 所	私 立	4	250	34
障 保 館	市 立	1	—	3
老人ホーム	市 立	1	50	14

老人医療状況

年 度	対象者数	療養件数	費 用	1人当たり 件 数	1件当たり 費 用	1人当たり 費 用
昭和49年度	2,811	32,305	124,211	11.43	3,844	44,187
昭和50年度	2,842	34,803	152,449	12.24	4,380	53,641
昭和51年度	3,026	37,253	164,355	12.31	4,411	54,313
昭和52年度	3,216	40,698	200,175	12.65	4,918	62,243
昭和53年度	3,242	44,168	245,856	13.62	5,566	75,834

医療衛生施設状況

(昭和54年3月1日現在)

保健 所	病 院					
	施 設 数	病 床 数				
		結 核	伝 染 病	一 般	精 神 病	
	1	4	66	30	55	364

診 療 所						
	歯科診療所	薬 局	一般販売業	薬種商	特別販売業	
施設数	病床数					
44	393	15	10	5	8	1

(資料：保健所)

医療関係者数

(昭和54年3月1日現在)

総 数	医 師	歯 科 医 師	保 健 婦	助 産 婦
394	54	19	9	6

看 护 婦	整骨・ハリキュウ・アンマ等	栄 養 士	薬 剤 師
225		43	13

(資料：保健所)

法定伝染病発生状況

(単位：人)

年 次	総 数	赤 痢(疫病含む)	腸 チ フ ス	猩 红 热	日本脳炎
昭和49年	3	2	1	0	0
昭和50年	7	3	0	1	3
昭和51年	2	2	0	0	0
昭和52年	0	0	0	0	0
昭和53年	4	3	0	0	1

産業経済

産業別就業人口の推移

(単位:人・%)

産業分類 (大分類)	昭和40年		昭和45年		昭和50年	
	総数	構成比	総数	構成比	総数	構成比
総 数	20,212	100.00	20,532	100.00	19,880	100.00
第1次産業	9,437	46.69	8,264	40.25	5,722	28.78
農 業	7,132	35.29	8,173	39.81	5,582	28.08
林 業・狩猟業	6	0.03	3	0.01	8	0.04
漁業・水産養殖業	2,299	11.37	88	0.43	132	0.66
第2次産業	2,946	14.57	3,542	17.26	4,894	24.61
鉱 業	126	0.62	155	0.75	126	0.63
建 設 業	1,023	5.06	1,024	5.00	1,434	7.21
製 造 業	1,797	8.89	2,363	11.51	3,334	16.77

産業分類(大)	昭和40年		昭和45年		昭和50年	
	総数	構成比	総数	構成比	総数	構成比
第3次産業	7,829	38.74	8,726	42.49	9,264	46.61
卸売業・小売業	2,930	14.50	3,230	15.73	3,599	18.11
金融保険不動産業	278	1.38	292	1.42	340	1.71
運輸通信業	762	3.77	872	4.25	933	4.69
電気・ガス・水道業	103	0.51	97	0.47	97	0.49
サービス業	3,045	15.07	3,491	17.00	3,557	17.89
公 務	698	3.45	731	3.56	717	3.61
分類不能の産業	13	0.06	13	0.06	21	0.11

(資料:国勢調査)

事業所の状況

(単位:個所・人)

区分	総数	農林漁業	鉱業	建設業	製造業	卸・小売業	金融保険業	不動産業	運輸通信業	電気・ガス水道業	サービス業
昭和41年	事業所 1,716	1	2	59	104	942	30	5	35	2	536
	従業者 9,597	12	30	790	1,832	2,949	369	14	648	102	2,851
昭和44年	事業所 1,735	9	5	82	111	956	20	4	34	4	560
	従業者 9,706	34	63	621	1,662	3,193	359	15	699	14	3,041
昭和47年	事業所 2,114	11	2	101	122	1,152	38	31	46	2	609
	従業者 12,344	37	X	971	2,470	3,923	534	58	781	X	3,543
昭和50年	事業所 2,166	9	9	120	131	1,191	35	46	32	2	591
	従業者 11,543	32	74	1,190	2,747	3,967	411	74	306	113	2,629

(資料:事業所統計調査)

農家の状況

(単位: 戸・人・ha)

年 次	農 家 数				農家人口	内 農 業 従事者数	経 営 耕 地 面 積			
	総 数	専 業	第1種兼業	第2種兼業			総 面 積	田	畠	樹園地等
昭和40年	4,672	1,294	1,869	1,509	24,101	9,779	3,255	2,266	557	432
昭和45年	4,564	923	1,812	1,829	21,945	9,539	3,337	2,374	398	565
昭和50年	4,314	511	1,406	2,397	19,648	7,020	3,139	2,311	303	525

(資料: 農業センサス)

経営耕地規模別農家数

(単位: 戸)

年 次	総農家数	例外規程	0.3ha未満	0.3~0.5ha	0.5~0.7	0.7~1.0	1.0~1.5	1.5~2.0	2.0~2.5	2.5~3.0	3.0~5.0	5.0ha以上
昭和40年	4,672	8	1,040	744	690	1,047	901	195	41	6	0	0
昭和45年	4,564	22	980	722	648	928	927	247	70	13	6	1
昭和50年	4,314	16	1,010	724	634	831	719	255	75	20	28	2

(資料: 農業センサス)

農産物粗生産状況

(単位: 百万円)

年 度	米	麦 類	雜穀豆類	いも類	野 菜	果 実	工芸作物	花 木	養 蛋	肉 牛	乳 牛	豚	にわとり
昭和49年度	2,694	49	15	50	490	875	166	158	141	31	168	163	509
昭和50年度	3,145	52	21	65	569	1,110	167	165	137	122	158	261	522
昭和51年度	2,641	38	28	76	640	908	204	149	113	281	171	279	549
昭和52年度	3,604	44	28	93	717	1,108	258	127	95	338	193	402	553

(資料: 農林統計)

農用機械の所有農家数と台数

(単位: 戸・台)

年 次	総 数		動 力 耕 運 機 農用トラクター		動 力 噴 霧 機		動 力 散 粉 機		農 用 ト ラ ッ ク オ ー ト 三 輪	
	農 家 数	台 数	農 家 数	台 数	農 家 数	台 数	農 家 数	台 数	農 家 数	台 数
昭和40年	4,672	1,952	1,155	1,155	55	55	180	180	560	562
昭和45年	4,564	5,895	2,292	2,357	805	837	901	903	1,757	1,798
昭和50年	4,314	7,258	2,587	2,760	1,302	1,310	1,514	1,515	1,645	1,673

(資料: 農業センサス)

家畜飼養農家数と頭羽数

(単位: 戸・頭・羽)

年 次	乳 用 牛		役 肉 用 牛		豚		に わ と り	
	農 家 数	頭 数	農 家 数	頭 数	農 家 数	頭 数	農 家 数	羽 数
昭 和 40 年	159	561	1,913	1,990	115	596	1,540	75,422
昭 和 45 年	158	887	977	1,323	109	1,935	548	88,337
昭 和 50 年	67	556	333	816	67	2,861	205	87,320

(資料: 農業センサス)

漁業区分別経営体数及び規模別漁船隻数

(単位：戸・隻)

区分	総 数	採捕のみ	養殖のみ	採 捕 と 養 殖		総 数	無動力船	船外機付船	動 力 船			
				採捕が主	養殖が主				総 数	5トン未満		
										1トン未満	1~3トン	3~5トン
滑石	334	259	8	3	64	172	8	134	30	2	22	6
大浜	330	285	11	13	21	115	13	80	22	4	15	3

(資料：第5次漁業センサス)

工 業 の 状 況

(単位：個所・人・千円)

区分	事 業 所 数					従 業 者 数					製 造 品 出 荷 額				
	48年	49年	50年	51年	52年	48年	49年	50年	51年	52年	48年	49年	50年	51年	52年
合 計	122	119	132	127	130	2,674	2,653	2,843	2,983	3,043	1,811,987	1,979,703	2,196,589	2,490,143	2,909,141
食糧品	64	60	61	59	59	807	918	959	932	986	764,752	878,033	895,538	996,594	1,196,110
織 繊	2	2	2	2	2	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
衣 料	4	2	5	7	7	211	X	262	431	455	22,948	X	9,585	53,091	75,845
木 材	3	4	5	5	5	33	41	43	37	36	10,597	14,258	17,739	20,994	23,436
家 具	—	—	3	3	3	—	—	8	8	8	—	—	2,463	2,754	2,996
パルプ・紙	1	1	1	1	1	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
出版・印刷	12	13	13	13	13	405	502	506	499	470	328,940	547,043	524,799	569,121	658,005
化 学	2	2	2	2	2	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
ゴム製品	1	1	1	1	1	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
窯業・土石	17	17	18	15	16	332	332	320	301	311	94,682	160,159	144,483	150,951	175,853
鉄 鋼	1	—	—	—	—	X	—	—	—	—	X	—	—	—	—
金属製品	3	6	8	7	8	129	139	151	159	162	45,132	61,824	62,646	79,823	102,910
一般機械	3	3	3	3	3	89	69	71	X	65	35,099	34,607	31,335	X	42,201
電気機器	—	1	1	1	1	—	X	X	X	—	X	X	X	X	X
輸送機器	4	3	5	4	4	X	3	5	4	5	X	310	516	561	1,765
その 他	5	4	4	4	5	171	150	112	125	150	82,135	120,554	116,712	129,889	165,831

(資料：工業統計調査)

商 業 の 状 況

年 次	商 店 数	常時従業者数(人)	売場面積(m ²)	年間商品販売額(万円)	修理・サービス仲立手数料等の収入額(万円)	商品手持額(万円)
昭和41年	751	2,170	18,582	524,836	3,658	47,105
昭和43年	807	2,628	31,532	944,851	5,310	99,747
昭和45年	885	3,029	32,908	1,142,084	13,223	93,326
昭和47年	902	3,067	38,906	1,337,985	21,677	134,543
昭和49年	954	3,126	37,183	1,977,808	29,193	224,527
昭和51年	1,004	3,385	41,146	3,039,629	47,659	304,091

(資料：商業統計調査)

運輸・通信

国鉄利用状況

年 次	旅 客		貨 物	
	玉名駅乗客数	肥後伊倉駅乗客数	玉 名 駅	
			発 送	到 着
昭和49年	1,270,650人	206,463人	25,491トン	78,846トン
昭和50年	1,181,985	196,332	22,172	69,604
昭和51年	1,183,927	196,147	18,529	78,179
昭和52年	1,078,815	178,592	19,175	78,400
昭和53年	1,542,769	168,818	24,761	71,429

(資料: 国鉄玉名駅)

自動車保有状況

(単位:台)

年 度	総 数			乗 用			乗 合 用			貨 物				特種(殊)用	その他の用途車
	計	自家用	営業用	計	普通	小型	計	普通	小型	計	普通	小型	被けん引		
昭和49年度	7,274	7,097	177	4,473	26	4,447	31	1	30	2,566	264	2,298	4	105	99
昭和50年度	8,306	8,111	195	5,334	36	5,298	36	2	34	2,724	265	2,455	4	118	94
昭和51年度	9,281	9,095	186	6,076	43	6,033	42	3	39	2,905	277	2,624	4	181	77
昭和52年度	10,158	9,992	166	6,805	53	6,752	46	3	43	2,991	302	2,686	3	224	92
昭和53年度	11,255	11,004	251	7,702	66	7,636	78	32	46	3,140	370	2,766	4	232	103

(資料: 熊本県統計年鑑・県陸運事務所)

軽自動車保有状況

(単位:台)

年 度	軽 自 動 車		原動機付自転車	小 型 特 殊 自 動 車	農業用	
	乗 用	貨 物	~50cc	51cc~		
昭和49年度	1,889	2,190	3,799	1,759	10	317
昭和50年度	1,810	2,169	4,266	1,484	11	1,073
昭和51年度	1,744	2,253	4,799	1,478	7	1,255
昭和52年度	1,761	2,362	5,022	2,235	10	1,437
昭和53年度	1,739	2,569	5,450	1,122	10	1,644

電話加入電報発信受信状況

年 度	電 話 設置台数	一 般 家庭用	事 業 用	公衆電話	1日平均 ダイヤル 通話度数	電 発	報 信	電 受	報 信
昭和49年度	7,374台	3,950台	3,424台	238台	50,608回	30,215通	30,122通		
昭和50年度	9,726	5,973	3,753	250	60,824	28,791	32,625		
昭和51年度	11,425	7,478	3,947	269	74,857	25,564	30,243		
昭和52年度	11,997	8,002	3,995	285	131,970	24,497	25,523		
昭和53年度	12,461	8,385	4,075	299	138,747	26,690	39,222		

(資料: 玉名電報電話局)

郵便物取扱状況

(単位:千通、千個)

年 度	通 常						小 包						年 賀 特 別 郵 便	
	普 通		普 通 速 達		書 留		普 通		普 通 速 達		書 留			
	引 受	配 送	引 受	配 送	引 受	配 送	引 受	配 送	引 受	配 送	引 受	配 送		
昭和49年度	2,737.5	2,689.7	58.4	66.4	35.7	79.2	4.7	24.5	0.7	4.0	1.1	2.6	893.7	836.5
昭和50年度	1,685.9	27,525.1	53.3	75.2	62.1	111.7	5.5	28.1	0.4	3.7	0.3	4.0	934.5	914.3
昭和51年度	1,834.5	2,323.2	37.2	43.1	35.0	108.0	5.5	33.2	0.7	3.3	3.7	4.0	923.4	866.1
昭和52年度	2,441.8	3,111.3	48.2	50.4	33.6	98.2	9.9	27.7	1.5	4.4	1.1	1.8	937.4	943.2
昭和53年度	2,545.5	3,388.7	52.9	62.1	50.0	119.7	10.6	47.5	1.5	3.3	0.7	4.4	890.7	896.6

(資料: 玉名郵便局)

建設

市道及び橋梁の状況

(昭和54年4月1日現在)

区分	道						路		橋		
	8.5m 以上	8.5m 未満 6.5m 以上	6.5m 未満 4.5m 以上	4.5m 未満 2.5m 以上	2.5m 未満 1.5m 以上	計	永久橋	非永久橋	計		
延長 m	1,368	7,074	103,841	196,762	2,895	312,440	1,217	366	1,583		
面積 m ²	18,169	48,750	519,090	719,878	5,790	1,311,677	4,581	1,144	5,725		

市道舗装状況

(単位:m・%)

区分	昭和49年度	昭和50年度	昭和51年度	昭和52年度	昭和53年度
総延長	300,148	302,465	303,794	305,457	314,023
舗装済延長	41,759	168,478	187,811	203,810	216,018
舗装率	13.91	55.70	61.82	66.72	68.79

一般国道

(54年4月1日現在)

延長	舗装延長	内橋梁延長
m	m	m

一般国道208号 高瀬大橋 297.5m

(資料:建設省熊本工事事務所)

県道の状況

全 体			主 要 地 方 道			一 般 県 道			橋 梁					
路線数	延長	内舗装済	路線数	延長	内舗装済	路線数	延長	内舗装済	橋数	延長	永 久 橋		木 橋	
											橋数	延長	橋数	延長
本	m	m	本	m	m	本	m	m	*所	m	*所	m	*所	m
13	53,278	55,278	4	23,510	23,510	9	29,768	29,768	54	1,344.25	54	1,344.25	0	0

(資料:玉名土木事務所)

公営住宅状況

区 分		昭和48年度 まで	昭和49年度	昭和50年度	昭和51年度	昭和52年度	昭和53年度	計	私下済	現在住宅数
木 造	1種	60戸	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	60戸	19戸	41戸
	2種	83	0	0	0	0	0	83	20	63
非木造	1種	279	0	24	27	22	0	352	0	352
	2種	216	28	56	38	38	0	376	0	376
計		638	28	80	65	60	0	871	39	832

上水道

上水道・簡易水道状況

区分	上水道					簡易水道				
	昭和49年度	昭和50年度	昭和51年度	昭和52年度	昭和53年度	昭和49年度	昭和50年度	昭和51年度	昭和52年度	昭和53年度
給水戸数	4,495	4,855	5,179	5,441	5,716	835	877	947	1,005	1,049
給水人口	16,991	18,109	19,162	20,131	20,806	3,156	3,271	3,504	3,718	3,818
総配水量(m³)	2,143,898	2,471,402	2,491,618	2,473,623	2,620,961	237,464	260,168	272,725	356,813	378,591
総給水量(m³)	1,661,521	1,859,205	1,913,103	2,117,658	2,220,544	213,949	242,125	242,579	289,703	317,993
1日平均配水量(m³)	5,874	6,752	6,826	6,777	7,180	650	710	747	977	1,037
1日平均給水量(m³)	4,552	5,079	5,241	5,801	6,083	586	661	664	793	871
有収率(%)	77.5	75.2	76.7	85.6	84.7	90.0	93.0	88.9	81.1	83.9

(資料: 水道局)

月別給水使用量

(昭和53年度 単位:m³)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
上水道	140,794	160,611	166,734	204,082	193,589	254,799	219,407	198,261	178,441	164,497	176,104	163,225
簡易水道	21,470	22,999	24,286	31,521	28,152	38,358	34,399	25,533	22,717	21,042	24,462	23,054

(資料: 水道局)

教 育

学校の状況

(昭和54年5月1日現在)

区分	校 数	教員数	学級数	児童生徒数			経営者別
				総数	男	女	
小学校	13 ^号	179人	130 ^班	3,868人	1,973人	1,895人	公立
				(9)	(306)	(140)	
中学校	4	114	59	2,255	1,200	1,095	・
高等学校	2	129	58	2,436	1,161	1,275	・
・	1	67	22	945	0	945	私立
幼稚園	3	26	23	624	315	309	・
各種学校	2	6	4	59	0	99	・
計	25	521	296	10,267	4,649	5,618	

()内 有明中横島教室分

(資料:学校基本調査)

中学校卒業者の進路状況

(単位:人)

年 度	卒業者	進 学 者				就 職 者 等			
		計	公 立	私 立	高 専	計	就 職	各 種 学 校 等	そ の 他
昭和49年度	787	745	441	300	4	42	24	14	4
昭和50年度	696	669	433	230	6	27	21	3	3
昭和51年度	701	676	437	235	4	25	17	3	5
昭和52年度	643	629	557	67	5	14	10	3	1
昭和53年度	775	744	502	235	7	31	16	11	4

昭和53年度有明中横島教室含む

(資料:学校基本調査)

高等学校卒業者の進路状況

(単位:人)

年 度	玉 名 高 校				玉 名 農 業 高 校				玉 名 女 子 高 校			
	計	進学者	就職者	その他	計	進学者	就職者	その他	計	進学者	就職者	その他
昭和49年度	496	286	91	119	287	25	230	32	426	64	341	21
昭和50年度	495	259	79	157	287	25	208	54	367	46	319	2
昭和51年度	501	261	74	166	277	27	199	51	445	72	376	7
昭和52年度	491	284	81	126	286	60	173	53	417	67	330	20
昭和53年度	504	326	93	85	280	80	165	35	334	52	278	4

(資料:学校基本調査)

小学校児童数

(単位:人)

学 校 名	昭和49年度	昭和50年度	昭和51年度	昭和52年度	昭和53年度	昭和54年度
玉名町小学校	1,313	1,290	1,317	1,292	1,284	1,351
篠山 ・	312	357	362	371	404	429
清石 ・	416	421	403	377	345	329
大浜 ・	317	304	303	297	283	276
豊水 ・	143	138	143	135	135	138
伊倉 ・	357	365	348	333	345	345
八嘉 ・	309	310	328	347	367	374
梅林 ・	203	177	172	156	154	137
小田 ・	90	92	90	98	93	87
玉名 ・	176	175	184	165	168	159
月瀬 ・	89	88	87	83	82	85
石貫 ・	127	108	109	100	96	93
三ツ川 ・	83	77	60	64	69	65
合 计	3,935	3,902	3,906	3,818	3,825	3,868

(資料:学校基本調査)

中学校生徒数

(単位:人)

学 校 名	昭和49年度	昭和50年度	昭和51年度	昭和52年度	昭和53年度	昭和54年度
玉名中学校	1,078	1,019	1,000	1,031	1,075	1,045
有明中学校 大豊教室	284	259	241	226	226	239
玉南中学校	345	317	313	322	319	320
玉陵中学校	463	427	434	428	397	385
合 计	2,170	2,022	1,988	2,007	2,017	1,989

(資料:教育委員会)

高等学校卒業者の進路状況

(単位:人)

年 度	玉 名 高 校				玉 名 農 業 高 校				玉 名 女 子 高 校			
	計	進学者	就職者	その他	計	進学者	就職者	その他	計	進学者	就職者	その他
昭和49年度	496	286	91	119	287	25	230	32	426	64	341	21
昭和50年度	495	259	79	157	287	25	208	54	367	46	319	2
昭和51年度	501	261	74	166	277	27	199	51	445	72	376	7
昭和52年度	491	284	81	126	286	60	173	53	417	67	330	20
昭和53年度	504	326	93	85	280	80	165	35	334	52	278	4

(資料:学校基本調査)

社会教育関係団体数・会員数

(54年4月1日現在)

名 称	団体数	会員数	名 称	団体数	会員数
子 ど も 会	82	3,160 ^人	青 年 団	12	303 ^人
ス ポ ー ツ 少 年 团	4	111	婦 人 会	13	4,306
ボーイスカウト	2	60	P T A	17	4,725
ガールスカウト	4	15	老 人 会	16	2,516

(資料:社会教育課、福祉事務所)

市民会館利用状況

(単位:回)

年 度	ホ ー ル	第1会議室	第2会議室	第3会議室	第 1 和 室	第 2 和 室	結 婚 式 場	料 理 講 習 室	計
昭和49年度	68	254	225	74	120	193	196	10	1,140
昭和50年度	71	233	239	73	139	190	171	11	1,127
昭和51年度	68	243	260	79	106	216	118	9	1,099
昭和52年度	96	280	250	95	147	241	94	14	1,217
昭和53年度	48	317	324	122	136	275	82	12	1,316

玉名市重要文化財一覧表

国 指 定 文 化 財		
No	種 別	名 称
1	史 跡	石貫穴觀音横穴
2	◆	石貫ナギノ横穴群
3	◆	大坊古墳
4	重 文	紙本墨書広福寺文書
5	◆	大智墨蹟東谷明光除夜偈
6	◆	広福寺伝衣付墨状

県 指 定 文 化 財		
No	種 別	名 称
1	史 跡	永安寺東古墳
2	◆	永安寺西古墳
3	◆	青木磨崖梵字群
4	◆	六反製鉄跡
5	美術工芸	太刀宗広
6	天然記念物	山田の藤
7	◆	伊倉舟つなぎの銀杏
8	重 文	大平野寺、小山觀音堂関係文書、正法寺絵図
9	建造物	高瀬目鏡橋

市 指 定 文 化 財		
No	種 別	名 称
1	工芸	大浜外島宮藏廻船模型
2	絵画	◆ 絵馬「大浜港」
3	史 跡	◆ 高麗犬
4	彫刻	聖觀世音菩薩木像
5	史 跡	吉利支丹墓碑
6	◆	繁根木補陀落渡海碑
7	◆	宇佐公満墓
8	◆	宇佐大宮司公長逆修塔
9	◆	伊倉保一方地頭沙弥行恵供養塔
10	◆	肥後四位官教公墓
11	絵画	僧豪潮筆水墨绘座具
12	書 跡	僧豪潮筆紺紙金泥仏説阿弥陀経
13	工芸	小岱焼流釉茶碗

No	種 別	名 称
14	工芸	小岱焼梅模様四脚盃洗
15	◆	小岱焼竹籠模様筒型水差
16	◆	九州肥後同田貫上野介
17	絵画	僧豪潮画併題文珠菩薩画像
18	書 跡	僧豪潮筆六曲屏風
19	工芸	廻船用鍛鉄製錨
20	史 跡	僧豪潮建立宝篋印塔
21	工芸	肥後同田貫宗広
22	考古	大坊古墳出土品
25	史 跡	玉名郡倉推定地
26	民俗文化財	梅林苔原神社「流鏑馬」
28	書 跡	僧豪潮墨跡宝篋印陀羅尼経文
29	考古	淨光寺蓮華院跡出土鎮壇具及び古瓦
30	工芸	伊倉八幡宮麒麟香炉
31	史 跡	達長の塔
32	工芸	肥後四位官郭公墓出土青磁
33	天然記念物	伊倉南八幡宮の大樟
34	書 跡	紙本墨書大智仏法僧一行書
35	史 跡	伝佐山古墳
36	考古	小路古墳付出土品一括
37	彫刻	清源寺釈迦如来坐像、木造多聞天立像
38	◆	清源寺六觀音、木像釈迦如来坐像
39	史 跡	宝成就寺跡古塔碑群石仏群
40	考古	馬出古墳出土品一括
41	彫刻	脱乾漆造釈迦三尊像
42	◆	木造地蔵菩薩半跏像
43	芸能	築山の花棒踊り
44	天然記念物	伊倉南八幡宮のなぎ
45	民俗文化財	山田白山宮比売神12坊祭礼記録帳付12坊塔碑
46	史 跡	高瀬舟着場跡
47	彫刻	読坂鑄造阿弥陀如来立像

警察・消防

刑法犯発生状況 (玉名市内発生件数)

(単位: 件)

年次	窃 盗	傷 害	暴 行	詐 欺	横 領	恐 喝	そ の 他	計
昭和49年	256	23	10	9	1	1	35	335
昭和50年	258	21	12	12	13	5	16	337
昭和51年	229	20	13	9	0	1	9	282
昭和52年	230	16	7	2	0	0	17	272
昭和53年	199	8	4	4	0	1	23	239

(資料: 玉名警察署)

少年犯罪検挙状況

(単位: 件)

年 度	放 火	強 袭	暴 行 傷 害	窃 盗	暴 力 行 为	傷 害	恐 喝	詐 欺	そ の 他	計
昭和49年度	4	0	0	16	0	4	1	0	1	26
昭和50年度	0	0	0	29	6	2	1	1	2	41
昭和51年度	0	4	8	22	0	0	0	0	0	34
昭和52年度	0	0	6	32	0	0	0	0	0	38
昭和53年度	0	0	1	50	0	0	0	0	1	52

(資料: 玉名警察署)

火災状況

(資料: 玉名消防署)

年 次	出 火 件 数			焼 失 棟 数			死 傷 者		罹 災 世 菩			罹 災 人 員	焼 損 面 積			損 害 見積額 (千円)
	建 物	林 野	そ の 他	全 燃	半 燃	部 分 燃	死 者	傷 者	全 損	半 損	小 損		建 物 m ²	林 野 a	そ の 他 a	
昭和49年	21	11	14	8	1	16	0	1	3	0	12	77	1,431	231	95	45,469
昭和50年	12	3	8	6	1	12	1	1	4	1	7	61	1,055	36	10	41,377
昭和51年	8	5	9	2	1	5	0	1	1	0	5	24	273	43	24	8,190
昭和52年	11	5	6	4	1	7	2	2	4	2	4	37	369	84	36	14,395
昭和53年	14	4	13	4	2	8	0	0	3	2	2	24	1,137	114	85	43,097

(資料: 玉名消防署)

消 防(玉名消防署)

(昭和54年4月1日現在)

玉名消防署	消 防 团	広 報 車	救 急 車	タンク車	ポンプ車	可動式動力ポンプ	小型動力ポンプ車
64 人	817 人	1 台	1 台	1 台	1 台	66 台	34 台

交通事故状況

(単位: 件・人)

区 分	昭和49年	昭和50年	昭和51年	昭和52年	昭和53年
発生件数	239	279	231	247	247
死 者	6	7	2	7	6
傷 者	327	359	293	320	315

(資料: 玉名警察署)

国道208号線交通量調 (口町菊水堂前)

(単位: 台)

区 分	49. 8. 7	50. 7. 29	51. 9. 8	52. 8. 23	53. 8. 22
荒尾方面へ	8,304	7,986	8,028	8,696	8,983
熊本方面へ	8,344	8,132	8,128	9,035	8,914
計	16,648	16,118	16,156	17,731	17,897

(資料: 玉名警察署)

市民生活

市民所得推計

市民所得の分配

(単位：千円・%)

項目	昭和51年度		昭和52年度	
	所得額	構成比	所得額	構成比
雇用者所得	32,296,467	66.69	34,249,906	64.73
賃金・俸給	27,767,745	57.34	30,162,604	57.01
社会保障雇主負担	1,664,175	3.44	1,699,054	3.21
その他の雇主負担	2,864,547	5.91	2,388,248	4.51
財産所得	3,155,166	6.51	3,319,156	6.27
一般財政	66,786	0.14	78,704	0.15
対家計民間非営利団体	59,412	0.12	69,759	0.13
家計計	3,028,968	6.25	3,170,693	5.99
企業所得	13,491,124	27.86	15,943,655	30.14
民間法人企業(配当控除後)	2,252,042	4.65	2,543,533	4.81
公的企業	△293,112	△0.60	47,581	0.09
個人企業	11,532,194	23.81	13,352,541	25.24
(控除)産業活動によらない財産所得	512,714	1.06	604,253	1.14
市民所得(市民純生産)	48,430,043	100.00	52,908,464	100.00
(参考)民間法人企業所得(配当控除前)	2,799,646	5.78	3,280,367	6.20
1人当たり市民所得	1,122,937		1,215,058	

備考：中間結果

市内純生産

(単位：千円・%)

項目	昭和51年度		昭和52年度	
	所得額	構成比	所得額	構成比
第一次産業	4,541,702	10.33	5,775,367	11.83
農業	3,307,335	7.52	4,013,269	8.22
林業・狩猟業	107,951	0.25	109,209	0.22
漁業・水産養殖業	1,126,416	2.56	1,652,889	3.39
第二次産業	10,552,631	24.00	12,579,250	25.76
鉱業	51,813	0.12	31,736	0.07
建設業	3,359,247	7.64	4,342,229	8.89
製造業	7,141,571	16.24	8,205,285	16.80
第三次産業	30,660,320	69.75	32,526,698	66.60
卸売・小売業	8,329,614	18.95	8,578,078	17.57
金融・保険・不動産業	2,772,850	6.31	3,229,625	6.61
運輸・通信業	2,701,930	6.15	3,057,162	6.26
電気・ガス・水道業	786,466	1.79	909,745	1.86
サービス業	13,318,543	30.29	13,825,869	28.31
公務	2,750,917	6.26	2,926,219	5.99
小計	45,754,653	104.08	50,882,315	104.19
(控除)帰属利子	1,795,015	4.08	2,043,957	4.19
市内純生産	43,959,638	100.00	48,837,358	100.00
市民1人当たり純生産	1,019,283		1,121,563	

備考：中間結果



主要官公庁

名 称	所在地	電 話	名 称	所在地	電 話
国 の 機 関					
熊本地方裁判所玉名支部	繁根木	2-3037	伊 倉 障 保 館	伊倉北方	2-3355
熊本家庭裁判所玉名支部	タ	2-2384	し 尿 处 理 場	繁根木	3-5841
熊本地方法務局玉名支局	タ	2-2347	第 1 学校給食共同調理場	玉 名	2-2532
玉 名 区 檢 察 庁	タ	2-2373	第 2 学校給食共同調理場	大 浜	6-0111
玉 名 税 務 署	タ	2-2125	玉 名 市 立 玉 名 中 学 校	中 尾	2-4191
玉 名 労 働 基 準 監 督 署	中	3-4411	玉 名 市 立 玉 陵 中 学 校	玉 名	2-2597
玉 名 公 共 職 業 安 定 所	タ	2-4154	組 合 立 有 明 中 学 校(大 豊 教 室)	大 浜	6-0136
日本専売公社玉名出張所	タ	2-5177	玉 名 市 立 玉 名 町 小 学 校	岩 崎	2-4195
玉 名 海 岸 保 全 事 務 所	タ	2-3185	玉 名 市 立 築 山 小 学 校	築 地	2-3328
建設省菊池川工事事務所玉名出張所	津 留	2-2314	玉 名 市 立 滑 石 小 学 校	滑 石	2-3349
玉 名 社 会 保 険 事 務 所	中	3-3129	玉 名 市 立 大 浜 小 学 校	大 浜	6-0203
熊本食糧事務所玉名支所	玉 名	2-4103	玉 名 市 立 豊 水 小 学 校	小 野 尻	6-0202
自衛隊熊本地方連絡部玉名募集事務所	中	2-4211	玉 名 市 立 伊 倉 小 学 校	宮 原	2-3417
県 の 機 関					
玉 名 総 合 行 営 舎	岩 崎	4-2111	玉 名 市 立 八 嘉 小 学 校	田 崎	2-2602
熊本県 玉 名 教 育 事 務 所	タ	3-2424	玉 名 市 立 梅 林 小 学 校	安 楽 寺	2-3635
熊本県 玉 名 土 木 事 務 所	タ	4-2111	玉 名 市 立 小 田 小 学 校	上 小 田	2-3314
熊 本 県 玉 名 保 健 所	タ	2-2184	玉 名 市 立 月 澪 小 学 校	溝 上	2-3228
熊 本 県 養 鳥 試 驚 場	伊 倉 北 方	2-2801	玉 名 市 立 玉 名 小 学 校	玉 名	2-3319
玉 名 警 察 署	繁 根 木	3-2171	玉 名 市 立 石 貴 小 学 校	石 貴	4-9121
熊 本 県 立 玉 名 高 等 学 校	中	3-2101	玉 名 市 立 三 ツ 川 小 学 校	三 ツ 川	4-9124
熊 本 県 立 玉 名 農 業 高 等 学 校	立 頤 寺	3-2123	玉 名 市 立 第 1 保 育 所	繁 根 木	2-3032
市 の 機 関					
玉 名 市 役 所	繁 根 木	3-2111	玉 名 市 立 第 2 保 育 所	中	2-3277
水 道 局	玉 名	2-2105	玉 名 市 立 第 3 保 育 所	高 澪	2-3348
水 道 水 源 地	溝 上	2-3332	玉 名 市 立 滑 石 保 育 所	滑 石	3-8447
市 民 会 館	岩 崎	3-5107	玉 名 市 立 一 どり 保 育 所	大 浜	6-0583
老 人 福 祉 七 シ タ ー	立 頤 寺	3-5802	玉 名 市 立 農 水 保 育 所	小 野 尻	6-0201
静 光 園 老 人 ホ ネ ム	立 頤 寺	2-2395	玉 名 市 立 伊 倉 保 育 所	伊 倉 北 方	2-2497
			玉 名 市 立 八 嘉 保 育 所	大 倉	4-1531
			玉 名 市 立 梅 林 保 育 所	安 楽 寺	4-2860

名 称		所在 地	電 話
運 輪 通 信 機 間			
玉 名	駅	中	3-5855
肥 後 伊 倉 駅	伊 倉 北 方		3-5835
国 鉄 玉 名 電 力 支 区	中		4-4912
国 鉄 玉 名 保 線 支 区	。		3-5847
玉 名 電 報 電 話 局	繁 根 木		4-0011
玉 名 郵 便 局	中		2-2280
玉 名 高 潤 郵 便 局	高 潤		2-4528
玉 名 温 泉 郵 便 局	立 願 寺		3-2733
築 地 簡 易 郵 便 局	築 地		2-4245
滑 石 郵 便 局	滑 石		3-2736
大 浜 郵 便 局	大 浜		6-0363
大 浜 未 広 簡 易 郵 便 局	。		6-2912
伊 倉 郵 便 局	伊 倉 北 方		3-2739
玉 名 大 倉 郵 便 局	大 倉		3-2735
小 田 簡 易 郵 便 局	上 小 田		3-3998
玉 名 迫 間 郵 便 局	禹 迫 間		3-2734
石 貰 簡 易 郵 便 局	石 貰		4-9222
月 潤 簡 易 郵 便 局	溝 上		3-3997
玉 名 三 ツ 川 郵 便 局	三 ツ 川		4-9311

金 融 機 間			
肥 後 銀 行 玉 名 支 店	高 潤		3-2151
熊 本 相 互 銀 行 玉 名 支 店	。		3-7111
熊 本 中 志 信 用 金 庫 玉 名 支 店	。		3-3151
肥 後 相 互 銀 行 玉 名 支 店	繁 根 木		3-3144
旭 相 互 銀 行 玉 名 支 店	。		2-3164

報 道 機 間			
熊 本 日 日 新 聞 城 北 総 局	中		3-3078
每 日 新 聞 玉 名 支 局	立 願 寺		2-3024
西 日 本 新 聞 玉 名 支 局	。		2-3201

名 称		所在 地	電 話
読 売 新 聞 玉 名 通 信 局	高 潤		2-3392
朝 日 新 聞 玉 名 通 信 局	。		2-2747
玉 名 有 線 放 送	繁 根 木		2-4315
そ の 他 の 機 間			
玉 名 商 工 会 議 所	高 潤		2-3106
玉 名 市 農 業 協 同 組 合	中		2-3191
大 浜 町 農 業 協 同 組 合	大 浜		6-2121
伊 倉 農 業 協 同 組 合	宮 原		3-3232
滑 石 渔 業 协 同 組 合	滑 石		3-6966
大 浜 町 渔 業 协 同 組 合	大 浜 町		6-0121
伊 倉 農 業 協 同 組 合 選 果 場	宮 原		2-4917
熊 本 県 経 済 連 種 鶏 場	玉 名		2-3570
熊 本 県 経 済 連 玉 名 支 所	中		3-2128
熊 本 県 農 協 中 央 会	。		2-3060
玉 名 郡 市 医 師 会	玉 名		2-2797
玉 名 平 野 土 地 改 良 区	永 德 寺		2-3374
玉 名 酪 農 協 同 組 合	中		2-5114
玉 名 畜 产 协 同 組 合	。		2-2044
玉 名 女 子 高 等 学 校	岩 嶋		2-5161
有 明 消 防 組 合 消 防 本 部	築 地		3-5271
有 明 消 防 組 合 玉 名 消 防 署	繁 根 木		3-7117
玉 名 農 村 檢 診 セ ン タ ー	中		3-6135
た ま き な 荘	玉 名		3-3337

あとがき

この市勢要覧は、市制25周年を記念して、市政の姿を広く紹介する目的をもって編集いたしました。編集が未熟なため不備な点もあると思われますが、ご高覧のうえ、ご批判、ご指導を載ければ幸いです。

なお、編集にあたり各方面から資料の提供などご協力をいただきましたことに対し厚くお礼申しあげます。

昭和54年10月

発 行 玉名市役所

編 集 玉名市総務部総務課

印 刷 凸版印刷株式会社

熊本県玉名市

